

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			30-10-1 /
会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 3 0 年度
項 目	資料作成費	金 額	1 1 , 7 4 1 円
内 容	会派執務室設置コピー機のコピー代（9月分）		
支 払 先	大西事務株式会社	支払年月日	平成30年10月2日
備 考	会派の市政関係資料のコピーに要した費用の支出		
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				30-10-2 
会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 3 0 年度	
項 目	備品消耗品費	金 額	1 5 , 6 6 0 円	
内 容	会派執務室備付けコピー機のリース代（9月分）			
支 払 先	シャープファイナンス	支払年月日	平成 3 0 年 1 0 月 3 日	
備 考	会派政務活動用資料の印刷に使用			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）				

SHARP

領 収 証

領収証番号 8J10P82

発行日 平成30年10月10日

加古川市議会 かこがわ市民クラブ 御中

拝啓 平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
お支払代金の領収証をご送付させていただきますので、ご確認
の上ご査収下さいますようお願い申し上げます。 敬具

下記金額正に領収致しました。
尚、内訳は右記の通りとなっております。

金 額 ￥15,660

金額を訂正したもの、領収証番号が
機械印字されていないもの及び
会社印がないものは無効です。

印紙税申告納
付につき東税
務署承認済

〒541-0052
大阪市中央区安土町2丁目3-13 大阪国
際ビルディング

シャープファイナンス株式会社

近畿財務局長(12)第00239号



領 収 内 容 内 訳				
領収日	お支払方法 ご契約番号		金 額	
			円	
平成30年 10月 3日	口座振替		15,660	0
合 計			15,660	0

<お問い合わせ窓口>

〒541-0052
大阪市中央区安土町2丁目3-13
大阪国際ビルディング
シャープファイナンス株式会社
事務センター
TEL 06-4964-6131
FAX 06-4964-6132

675-8501

兵庫県加古川市加古川町北在家2000

加古川市議会

かこがわ市民クラブ 御中

()

(お問い合わせ窓口)

541-0052

大阪市中央区安土町2丁目3-13
大阪国際ビルディング

シャープファイナンス(株)

事務センター

06-4964-6307

[営業時間 9時~17時30分(土、日、祝日を除く)]

ご利用の内容

お支払日	毎月	3日	お支払方法	口座振替
ご契約日	平成28年11月11日		お問い合わせ番号	
商品名	デジタルカラーフクロウキ ※2品目以上ご利用の場合は代表商品のみ表示しております。			
リース期間	平成28年11月11日から 平成31年11月10日まで (36ヵ月)			
お支払合計額	563,760円		内消費税額	41,760円

※口座振替ご指定金融機関

※お客様の情報を保護するため、
口座番号は表示しておりません。

銀行	支店	口座番号
預金種別	口座名義人	カコガワシンクラフ カイケイ タニ マサヤ
お取扱店	大西事務株式会社	
	TEL 079-420-9810	

お支払明細

作成日 平成30年11月25日

このたびは、シャープファイナンスをご利用いただき誠にありがとうございます。
ご利用の内容および月々のお支払につきまして下記の通りご案内いたしますので、
ご確認のうえご完済まで大切に保管いただきますようお願い申し上げます。
今後とも、シャープファイナンスをご利用賜りますようお願い申し上げます。

ページ 1-1

お支払回数	お支払年・月	お支払金額	内消費税額	お支払後の残高
1	29:1	15,660円	1,160円	54,810円
2	29:1	15,660円	1,160円	53,244円
3	29:2	15,660円	1,160円	51,678円
4	29:3	15,660円	1,160円	50,112円
5	29:4	15,660円	1,160円	48,546円
6	29:5	15,660円	1,160円	46,980円
7	29:6	15,660円	1,160円	45,414円
8	29:7	15,660円	1,160円	43,848円
9	29:8	15,660円	1,160円	42,282円
10	29:9	15,660円	1,160円	40,716円
11	29:10	15,660円	1,160円	39,150円
12	29:11	15,660円	1,160円	37,584円
13	29:12	15,660円	1,160円	36,018円
14	30:1	15,660円	1,160円	34,452円
15	30:2	15,660円	1,160円	32,886円
16	30:3	15,660円	1,160円	31,320円
17	30:4	15,660円	1,160円	29,754円
18	30:5	15,660円	1,160円	28,188円
19	30:6	15,660円	1,160円	26,622円
20	30:7	15,660円	1,160円	25,056円
21	30:8	15,660円	1,160円	23,490円
22	30:9	15,660円	1,160円	21,924円
23	30:10	15,660円	1,160円	20,358円
24	30:11	15,660円	1,160円	18,792円
25	30:12	15,660円	1,160円	17,226円
26	31:1	15,660円	1,160円	15,660円
27	31:2	15,660円	1,160円	14,094円
28	31:3	15,660円	1,160円	12,528円
29	31:4	15,660円	1,160円	10,962円
30	31:5	15,660円	1,160円	9,396円
31	31:6	15,660円	1,160円	7,830円
32	31:7	15,660円	1,160円	6,264円
33	31:8	15,660円	1,160円	4,698円
34	31:9	15,660円	1,160円	3,132円
35	31:10	15,660円	1,160円	1,566円
36	31:11	15,660円	1,160円	0円

※本書状についてのお問い合わせは、「お問い合わせ番号」をお申し出の上、弊社窓口までご連絡下さい。

消費税は月々のお支払金額に含まれています。

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			30-10-3 3
会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 3 0 年度
項 目	備品消耗品費	金 額	4, 7 0 7 円
内 容	事務用品の購入		
支 払 先	モリス 加古川店	支払年月日	平成 3 0 年 1 0 月 5 日
備 考	会派での資料印刷、資料整理、マーキング用に使用、 《コピー用紙、クリヤーポケット、ふせん紙》 税込み合計 4, 7 0 7 円		
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く） モリス加古川 領収書№.3 8 3 3 3 添付			

領 収 証

加古川市民クラブ

様 No. 38333

★ 4,707-

但 事務用品

11 30 年 10 月 5 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額(%)

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

モリス 加古川
ドラッグストア
加古川市加古川町本村
TEL (079) 454-8854

MORIS

ホームセンター加古川店 079-454-8854

ポイントカード会員募集中!

200円(税抜) お買物で1P、
500P貯まると500円のお買物券を
発行します。

※※※ 領 収 書 ※※※
2018年10月05日(金)12:26 レジ*0004

責No00006584

***** お客様控え *****

4545244270865JAN

内武田 コピー用紙A4 箱

2 X単1382 ¥2,764

4904333020147JAN

内NK ふせん紙

2 X単138 ¥276

4904333020109JAN

内NK ふせん紙

2 X単138 ¥276

4519001288837JAN

内3Mポストイットスリム見出し

2 X単257 ¥514

4519001288820JAN

内3Mポストイットスリム見出し

2 X単224 ¥448

4903419348144JAN

内リヒト クリヤーポケット

¥429

合計 ¥4,707

(内税 タイショウ ¥4,707)

(内税計 ¥348)

(税合計 ¥348)

お預り ¥5,707

お釣り ¥1,000

お買上点数 11点

もしポイント会員様(現金払)なら

今回取引ポイント 点

ポイントカードにご入会下さい!

返品・交換はレシート(領収書発

行の場合は領収書)が必要です。

◎印はセルフメディケーション税制対象

レシートNo8214

店No00069

経理要領 様式第1号

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			30-10-4 4
会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 3 0 年度
項 目	調査研究費	金 額	1 5 1 , 4 4 0 円
内 容	会派視察 「下関市 食育推進計画について」 旅費		
支 払 先		支払年月日	平成30年10月12日
備 考	会派視察旅費 *合計 151,440円		
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

出張調査届

平成30年9月27日

市議会議長様

会派名 かこがわ市民クラブ

代表者 村上 孝義



このたび、調査のため下記により出張しますので報告します。

出張者氏名

村上 孝義（代表者）、井上 恭子、谷 真康、稲次 誠、山本 一郎、渡辺 征爾

調査都市名及び調査内容

・10月12日（金）13：30～15：30

下関市「食育推進計画について」

出張期間 平成30年10月12日（金）（1日間）

旅 費 内 訳	日 当 (単価 円 日分)	円	経 路
	宿 泊 料 ()	円	別紙のとおり
	鉄 道 賃 (7,560円+350円) × 2	15,820 円	
	急 行 料 金 5,060円 × 2	10,120 円	
	航 空 賃 ()	円	
	車 賃 ()	円	
	船 賃 ()	円	
	出席者負担金 ()	円	
	そ の 他 ()	円	
	合 計	25,940 円	

※届出者が議員の場合は、代表者欄に記入のこと。

※ 25,940 円 × 6名 = 155,640 円

視察行程表

・10月12日（金）13：30～15：30

下関市議会 行政視察 「食育推進計画について」

【往路】

加古川駅 09：21 発 —（JR神戸線新快速）— 09：34 着 姫路駅 09：48 発 —（JR新幹線さくら549号）— 11：29 着 新下関駅 —（徒歩）— 新下関駅 11：37 発 —（サンデンプルーライン）— 11：55 着 西の端駅 —（徒歩）— 下関市役所

下関市議会事務局 連絡先 083-231-4121

【行政視察】

13：30 ～ 15：30 下関市

「食育推進計画について」

【復路】

下関市役所 —（徒歩）— 西の端駅 16：10 発 —（サンデンプルーライン）— 16：28 着 新下関駅 16：40 発 —（JR新幹線さくら562号）— 18：02 着 岡山駅 18：23 発 —（JR新幹線ひかり482号）— 18：58 着 姫路駅 19：11 発 —（JR神戸線新快速）— 19：21 着 加古川駅

代表者印

経理要領 様式第3号

出張調査研究報告書

平成 30 年 10 月 25 日

市議会議長様

会派名 かこがわ市民クラブ

出張者氏名

村上孝義

印

渡辺征雨

印

山本一郎

印

丹上恭子

印

谷真康

印

稻次誠

印

下記のとおり報告します。

日程 平成 30 年 10 月 12 日 (1 日間)

視察先 下関市

視察(調査)事項

下関市 「食育推進計画」について

復命事項(所見及び感想)

※別紙参照 (別添)

出張に伴う経費の精算

前渡金額 155,640 円

精算額 151,440 円 過不足額 -4,200 円

※報告者が議員の場合は、出張者氏名欄に記入のこと。

※新下関一西の端間において、バスを利用しなかった為、 $(350 \text{ 円} \times 6 \text{ 名}) \times 2 = 4,200 \text{ 円}$ が減額となった。

出張調査研修報告書（下関市）

平成30年10月19日

かこがわ市民クラブ

幹事長 村上 孝義

1 視察の概要

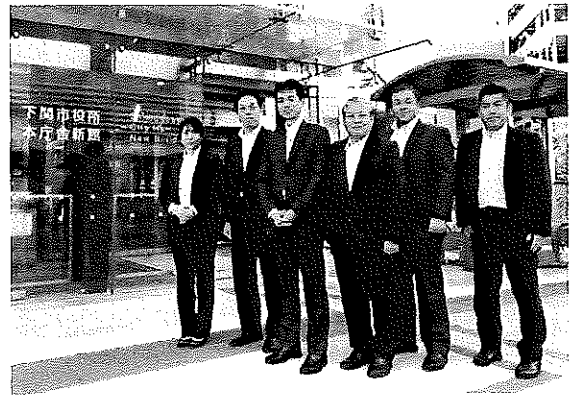
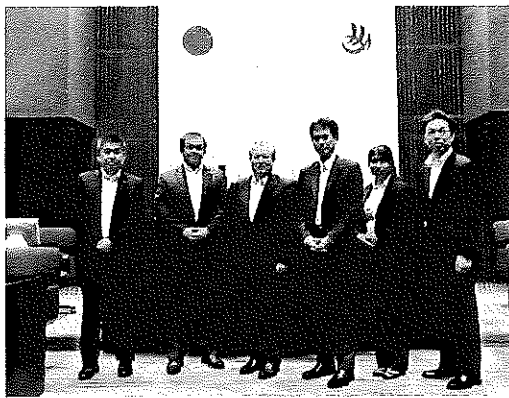
1. 視察日程：平成30年10月12日（金） 13時30分～15時30分

2. 視 察 先：下関市議会

3. 視察項目：「食育推進計画について」

4. 視 察 者：かこがわ市民クラブ（6名）

井上恭子・谷真康・稲次誠・山本一郎・渡辺征爾・村上孝義



5. 視察目的：加古川市は「ウェルネスプランかこがわ」で、第2次健康増進計画と第6章において「第2次食育推進計画」を策定して推進している。食育推進計画では、基本目標を「食を楽しむ みんなではぐくむ心豊かな人づくり」とし、市民一人一人が食を大切にする心や食への感謝の心を育み、家庭、認定こども園、保育所、学校、地域社会が中心となって、より良い食育環境を共につくすることで、食を通じた活力ある社会の実現を目指しています。

しかし、食育に関する課題も山積する中で、特に、特定健診受診者15,000人の内、糖尿病か糖尿病のリスクがある方が、83.9%と兵庫県内でワースト1と言う状況もあることから、先進地である下関市の取り組み状況を視察し、今後の市政に活かすため。

6. 主な資料：①「下関市における食育について」②「事前質問への回答」

③「第3次下関ぶちうま食育プラン第3次下関市食育推進計画」

④「しものせきしょくいくすごろく」⑤「下関ぶちうま食育カルタ（解説本）」

⑥第3次下関ぶちうま食育プラン【概要版】⑦3 チャレンジノート・封筒

⑧下関ぶちうま！食を通じて心と体を育むBOOK2016⑨「保健部のしおり」

⑩「しものせき 市議会要覧」 ⑪「下関市市勢要覧」

⑫「維新発祥の地下関 観光ガイドブック」⑬「関門海峡・浪漫マップ」

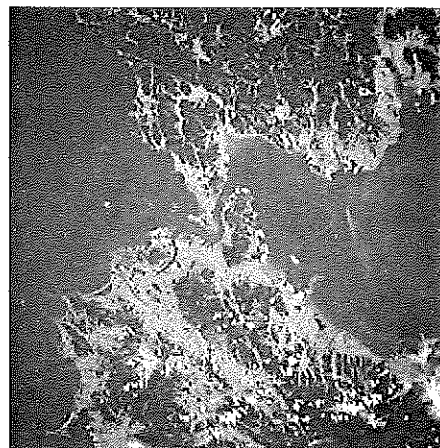
⑭「宮本武蔵と佐々木小次郎 決闘の聖地 巖流島」⑮壇ノ浦合戦絵巻」

⑯下関幕末維新探訪絵図

2 下関市の概要

(上が下関市、下が北九州市)

下関市は、本州最西端に位置し、関門海峡を挟んで九州と、又、響灘・対馬海峡を隔てて韓国とも相對している。関門海峡は平安時代に壇ノ浦の戦いで平家が滅亡した地であり、また幕末には長州藩と外国艦隊の戦闘の場となったことでも知られている。このような地理的条件から、古くから山陽、山陰と九州の結節点として栄え、中国縦貫自動車道、関門自動車道、国道2号、9号、191号などの幹線道路や、山陽新幹線、山陽本線などの国土幹線が集中している。また、国際的にも関釜フェリー航路、その他中国をはじめとする東アジアとの国際航路があり、海陸の幹線交通網が集中している。



人口は、264,384人(男123,084、女141,300)で、世帯数は130,428世帯

(平成30年月8月末日現在で、住民基本台帳に基づく数値)

名物としては、下関四大名物は、フグ(ふく)、ウニ、クジラ、アンコウで、辛子明太子や瓶詰めウニ、瓦そばは、下関が発祥の地と言う。

3 下関市の「食育推進計画について」(別紙参照)

1. 事業の概要

(1) 計画の策定について



下関市では、平成25年3月に策定した「第2次下関ぶちうま食育プラン(第2次下関市食育推進計画)」のもと、実践により具体的に踏み出せるよう、関係者・組織・団体と連携、協働しながら、市民の「食育」を推進してきた。しかしながら、高齢者の低栄養など新たな健康問題の顕在化や食品廃棄の増大による環境への負荷など、今までの取り組みでは解決出来ない問題が増えてきた。

今一度、市民の健康と健全な食生活の実現のため、食の安全性はもとより、食に関する感謝の念や理解を深め、様々な分野で横断的に食育を推進していく必要があります。

そこで、引き続き市民が一丸となって実践の輪を広げていけるよう、平成30年度からの5年間を計画期間とする「第3次下関ぶちうま食育プラン(第3次下関市食育推進計画)」を策定した。

(2) 第3次下関ぶちうま食育プランの特徴

<計画の理念>

- ・いのちを考え、「生きる力」をはぐくむこと
- ・豊かな自然や文化の特性を生かし、市民が生涯にわたって健全な心を培い、

ながら行っていきたいと考えている。

6. 質問事項への回答

【質問1】食育推進計画において、どこに主眼を置いて取り組んでいるのか？

(回答)

豊かな自然や文化の特性を活かし、市民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことを主眼としている。

また、下関市では、生涯にわたる健全な心身や豊かな人間性はわたし達が生きる上での「財産」となり、毎日の食の営みや様々な食の体験の積み重ねにより培い、育むことを「財産づくり」ととらえている。

第3次計画では、生産から消費までの食べ物の循環や、こどもから高齢者までのライフサイクル、次世代へ生きる力を伝える伝承のめぐり、食育活動が催事から家庭の日常へと根を下ろす仕組みなど、多くの食を取り巻く環境を「環（わ）」として意識し、財産づくりの深化を目指す。また、個人や各団体が主体的に行ってきた取組を、関係者が多様に連携・協働しながら、「輪（わ）」を大きく広げ、さらなる財産づくりの進化に向けて推進することを目指している。

【質問2】計画を進める中で、庁内・外との連携、進捗の確認及び情報の共有については？

(回答)

年に2回、下関食育推進会議を開催し、庁内、庁外との連携、進捗の確認及び情報の共有を行っている。計画策定時については、庁内でワーキンググループによる会議も実施。

(集まって進捗のチェックはしていないが、会議の中で、意識づけ、共有している。)

下関食育推進会議委員については、食育推進計画の46頁参照。

【質問3】市内、幼小中学校との連携について、全校に対する実施率及び、主な内容については、どうか？

(回答)

・食育として心にとめてほしいことをスローガンにし、まとめたものをポスターにして市内全小中学校へ配布。同じ方向を見て食育に取り組んでいただけるよう協力をお願いしている。また、「しょくいくすごろく」を作成し、市内全小学生へ配布。市内全放課後児童クラブへも配布している。

・朝ごはん3チャレンジ事業を市内全小学3～6年生を対象に実施。今年度で3年目を迎える。朝ごはんにこどもだけでご飯とみそ汁づくりを3回行ってもらい、チャレンジノートに作った感想や食べてもらった人の感想を書いてもらい、提出していただいている。こどもの料理を作る力を育むこと、また保護者世代の朝食喫食率の向上を目的に行っている。

この事業について小学校へ、周知やチャレンジノートの全児童への配布をお願いしている。夏休みの宿題として取り扱ってくださる小学校や、家庭科授業と結び付けて実施をしてくださる学校が出てきている。

・学校ではないが、幼小中PTA連合会と連携をし、PTA連合会の研修会で食育をテーマに取り上げていただき、食育に関係した講演会を開催していただいている。市内全幼小中学校の保護者が参加されている。

・幼保こども園は幼児保育課が主として食育の推進に当たっている。

4 視察しての感想と所見

＜感想＞ 下関市は、歴史と伝統のある街であり、人口も合併により、30万人を超えていたが、今は26万人台となり、少子高齢化・人口減少が大きな課題の一つである。そのためにも、食育は大切であるという考え方で、市をあげて、積極的に食育に取り組んでいる。

説明頂いた具体的な取り組みの、主なものには、下記のものがある。

1. 食育を、下関市食育推進会議や庁内関係課における会議等で、「みんなで食育を推進しよう！」として、正しい食の知識を持つ、日本型食生活の良さを見直す。食に感謝する気持ちを持つ等、7項目について、推進している。
2. 「おにぎりの日」の開催及び食の体験教室「挑戦！ふく名人」として年1回水産大学と連携して実施している。

子供たちの料理教室を実施し、食で作る笑顔の“わ”と生産者への感謝を教えている。

3. 「新生活応援講座」として、高3を対象に、就職や進学をして自炊すると食生活が乱れるため、調理実習により栄養バランスを考えた食生活を教えている。

又、「市役所新規採用職員研修」を実施し、自分たちで作ったものを食べてもらう昼食会等を実施している。

4. 下関ぶちうま食育カルタ・解説本作成、カルタ大会を開催している。

推進計画の普及啓発の一環として、食育について楽しく遊びながら学んでいただくために、平成20年度に「下関ぶちうま食育カルタ」を製作している。

カルタの句は、市内在住者から募集し、幼児からお年寄りまで幅広い年齢層1,181名の方から2,452句の応募があり、その内から、下関らしい46句を選定し、600セットを作成し、幼稚園等に配布した。

その後、より理解をしていただくために「解説本」を作成している。



5. 大学生あったかごはんプロジェクトとして、「SUMMER COOKING SCHOOL ～一夏の料理教室～」として、料理教室や講義をしている。
6. あったかごはんプロジェクトforシニア「食の出前講座」を実施している。

(1) 講話メニューは「100歳まで元気！上手な食べ方テクニック」を栄養士さんがスライドを使用して、講話をする。19回384人が受講した。高齢者支援下で周知し、老人サロンや認知症カフェ・オレンジカフェ等で実施している。

内容は、高齢者の栄養のバランスや、肥満を心配して栄養を摂らなくなる低栄養が心配なので、その点も講話している。

(2) 調理実習「市販の食材簡単アレンジ術」は下関食生活改善推進員により、実施している。

(3) その他の取り組みとしては、買い物難民等に対して、地域特性に合わせて、移動販売車による販売とか、買い物送迎を実施している。

7. 働き盛りあったかごはんプロジェクトとして

(1) 「ウォークビズ&ベジタブルビズ」を、生活習慣病予防の基本は「運動と食事」として、実施している。

又、糖尿病対策としては、医師会と連携して予防対策をし、予備軍にも対応して

いるという。

(2)「朝ごはん3チャレンジ」は、小3～小6を対象に、朝食を3回作って、ノートに書いて提出する。一昨年235人、昨年337人、今年は200人以上がチャレンジしている。

「朝ごはん スリー チャレンジ」で、自分でご飯を作れるよう、教育している。

8. 第3次計画は平成30年度からの5年間の計画。

(1)「実践の輪を広げよう」という概念の下、食の安全はもとより、食に関する感謝の念や理解を深め、様々な分野が横断的につながり、食育を総合的・計画的に推進していくための行動計画」と位置付けている。

(2) 目指す姿を、「つながろう!つなげよう!財産づくりの大きな“わ”」として、財産づくりの輪として食育の進化、生涯に亘る食の営みの環、生産から食卓までの環財産づくりの環として食育の深化を目指している。

(3)「しものせきよくいくすごろく」を作成し、子どもたちに、遊びから食育を学ばせている。

これらの施策は加古川市でも、すぐにでも実践出来る事業であり、是非実施出来るよう、意見反映していく必要がある。

＜所見＞ 下関市は、食育に対する取り組み姿勢が違うと感じました。特に、本気度が半端でないと思われまます。例えば、下関市では、

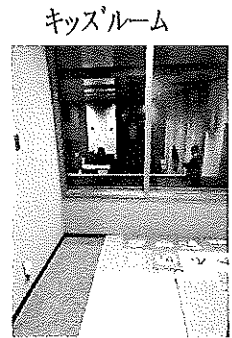
1. 講演会や、作文の募集と発表、標語の募集、絵の募集をし、「食べることは生きること」「命を頂く～食への感謝」を、市民に徹底的に植えつけている。

加古川市では、「平和記念式」「人権の集い」等は、全市的に市民全体に広く啓発をしているが、「食育」では、そこまでの取り組みは出来ていない。今後、健康寿命の延伸や健康長寿を目指すためにも、長寿社会に対応するためにも、実現すべきと思われまます。

2. 視察項目以外では、

(1) 議場の視察時に、①傍聴者用のキッズルームが設けられており、子供連れの傍聴者に好評という。又、②議場に自動翻訳機を設置しており、本会議場でのやり取りは、70～80%は正確に翻訳され、委員会室では、早口の場合もあることから、30～40%位と事務局長から説明された。

加古川市でも、傍聴用のキッズルームの設置で傍聴しやすくし、自動翻訳機の導入で、議会事務局の効率化を図る必要があると思ひました。



いずれにしても、下関市での調査内容・ご教示頂いた内容等は、大変参考になりました。「今後の議会活動で意見反映」し、フォローしたい。 以上

平成30年10月19日

総務教育常任委員会 行政視察報告書

かがわ市民クラブ 渡辺 征爾

視 察 先	山口県下関市	視察年月日	平成30年10月12日（金）
テ ー マ	下関市ぶちうま食育プランの取組みについて		

<所 感>

私達が普段の生活において、また生きていくうえで基本となるものは、食である。食は私達の人生の一部であり、食によって精神面や身体面における健康にも大きく影響を及ぼすものである。普段何気なく食事をしていることが多いなか、食について市民一人ひとりが毎日でなくても意識する機会を増やしていくことが大切である。意識する機会を増やすことで、食に対する自然の恵みに感謝する機会を与え、また正しい知識と行動を促す機会も増えることとなる。このことが、健康面での充実や食品ロス低減等に繋げていくことも期待できる重要な取組みであると考えている。飽食の時代と言われる今日において、私達の命の源である食に対し、人生をとおしてしっかりと意識し行動する機会を持つことは、一人ひとりの人生を豊かにしていくことに繋がるものである。現在加古川市では、中学校給食の実現に向け、2カ所の学校給食センターを建設している最中にある。給食を通じ食を考える食育について、どんどん推進していく絶好の環境にあると考える。このような中、加古川市における今後の食育について、どうあるべきか、どのような具体的な取組みを推進すべきかについて、他市の事例も参考に会派として学習すべく、この度、食育について先進的に取組んでいる下関市に視察を行った。

下関市では、食育に関し平成30年3月に「第3次下関ぶちうま食育プラン」を策定している。基本理念として、豊かな自然や文化の特性を活かし、いのちを考え生きる力を育み、市民が生涯にわたって健全に心身を培い、豊かな人間性を育むこととしている。この基本理念を実現するため、食の生産から消費までの循環や、市民のライフサイクルを「環（わ）」として位置づけ取組んでいる。具体的に食育を市民の日常に深化させるべく、「いのちの環」「食でつくる笑顔の環」「生涯にわたる食の営みの環」「生産から食卓までの環」という4つの各々の環についてきめ細かく取組みを設定している。この4つの環のなかで特に注目したのが「いのちの環」についてである。この環の想いを下関市は、「生きることは食べること。全ての食べ物は命です。いただく命へ感謝の念を持つことは『いただきます』『ごちそうさま』にしっかりと想いを込めて挨拶することや『食べ物を無駄にすることはもったいない』と当たり前に感じられる心を育みます」と語っている。この想いこそ食育を推進するうえで一番大切なものであると痛感するものである。現在の飽食にある環境において、つい忘れられがちな「全ての食べ物は命。いただく命へ感謝の念を持つ」という心は改めて非常に大切なことであると痛感するものである。この心があれば、食べ物に関わる命や生産者の想い、また自分自身の健康についてしっかりと見つめ、考え、行動に繋げていける原点になるものだと考える。下関市は、この「いのちの環」について考えるDVD等を活用した研修等を隔々まで展開しており、市民一人ひとりに対し、食育を推進する側の想いを分かり易く、共感を持って理解して頂ける素晴らしい取組みとなっている。加古川市にも食育推進計

画において、食事のあいさつを実施するよう取組むという項目はあるが、全般的に食に対する知識や行動のみを推進する内容となっており、下関市のように食に感謝するという命の環の部分が欠けていると感じる。命を頂くという根本的な部分が謳われていないため、計画を策定した側の想いを感じることが出来ず、まさに仏作って魂入れずの計画となっているように感じる。下関市の計画では、このような「いのちの環」をベースに、食育について市民一人ひとり、家庭、学校園、企業、流通・販売者、生産者等、ありとあらゆる対象先と一緒に、計画を推進していることも大きな特徴である。そして、目標を達成する指標についても下関市だけが関わるのではなく、地域団体等とも幅広く指標を共有して取組んでおり、地域が一体となって推進する体制が構築されている。まさに理想的な推進体制であると考ええる。

今回の視察を通じ、全般的に参考となる事項が非常に多く、考え方に共感するものが大きかった。食育の推進については、食に対する知識や行動を高める取組みに終始しがちである。しかし、食育を推進する本質は、何を食べるかではなく、どう食べるかであり、食への感謝にあると考える。今回の視察で得た多くの事柄に対し、今後の加古川市における食育計画の推進に、しっかりと反映していきたいと考える

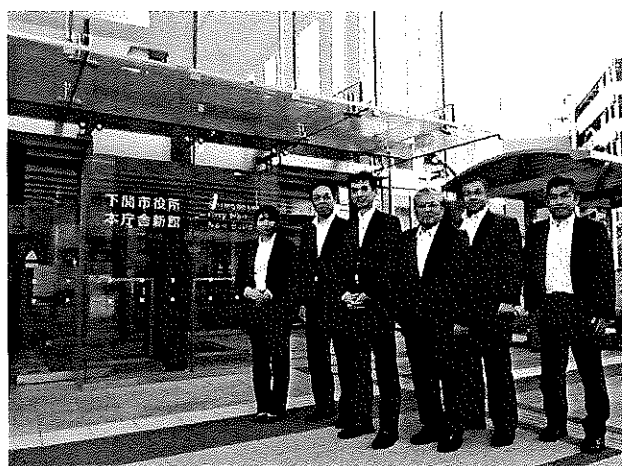
以 上

会派視察報告内容

視察先	下関市役所	応 対 者	議会事務局長
視察先住所	山口県下関市南部町1番1号		事務課 課長補佐
視察件名	下関市 食育推進計画（食育について）		健康促進課長、他
出張日時	2018. 10. 12 13:30～15:30	同行者	かこがわ市民クラブ 村上、渡辺、稲次、山本、谷、井上(記)

内容・報告・特記事項

- | | |
|---------------------|---------|
| 1. 下関市の概要説明 | 議会事務局長 |
| 2. 加古川市議挨拶 | 村上幹事長 |
| 3. 食育推進計画について | 健康推進課長 |
| 4. 食育について | |
| パワーポインターを使用した説明 | 担当主任 |
| 5. いのちをいただく ～職への感謝～ | 鑑賞 |
| 6. しものせき市政だより | 鑑賞 |
| 7. 質疑 | |
| 8. 総評 | 渡辺 副幹事長 |

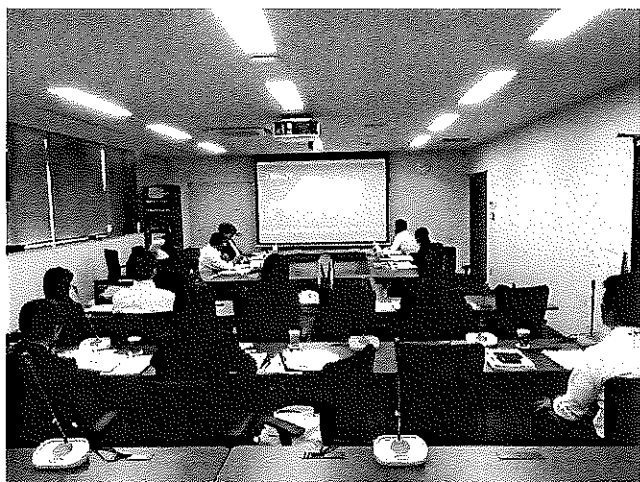


【所感】

下関食育推進計画が第1次計画が始まったのは平成20年から始まりました。第2次計画のめざす姿は、いのちを考え、「生きる力」を育む財産づくり。平成25年度は「指導者」、平成26年度は「大学生」、平成27年度は「高齢者」、平成28年度は「働き盛り世代」平成29年度は「評価」とターゲットを年度ごとに変え調査、研究、結果を出していました。また、山口県では欠食が全国的にみても多く、大人も含めた欠食を軽減すべく、職員が思考したのは『働き盛りあったかごはんプロジェクト』その中で一際輝いていたものが「朝ごはん3チャレンジ」大人から子供までの欠食を軽減させるのは、大人からの発信ではなく、子どもの力がポイント。子どもに朝ごはん（米とみそ汁）を3回作ってもらい応募をしてもらう。応募をすればプレゼントが家に送られてくる仕組みに

なっている。プレゼントの内容は米と味噌が送られ、米と味噌が送られてくる事により、応募をするだけで留まらず、もう一度米と味噌を使いご飯が作れる流れになっている。子どもが作った朝ごはんを食べた大人の感想は「子どもが作ったごはんを食べない訳にはいかない。とてもありがたいと感じた。」と子どもが食を作ることによって、食への関心と大人にも朝ごはんが大事だと感じてもらえるよう心理的要素を取り入れている。平成 30 年度からは第 3 次計画がスタートした。めざす姿は実践の輪を広げるという概念の下、食の安全性はもとより、食に関する感謝の念や理解を深め、様々な分野が横断的につながり、食育を総合的・計画的に推進していくための行動計画である。

__この度の食育に関する視察で感じたことは、8 人の下関市関係者の内 5 人が女性であり、若い女性職員が積極的に取り組んでいるのが見受けられました。市民に食について興味を促すことをじっくりユーモア溢れる思考を持ち寄りストーリーが完結よく計画が立てられ、若さ溢れる観点でおもしろいと感じるものだった。



9. その他 議場見学

議場内は傍聴者に考慮されていた。傍聴席は広く、難聴者支援設備があり、議場内に難聴者のための受信機貸し出しもある。また、キッズスペースもガラス張りになっており議会をリアルに視聴し、子どもの泣いても大丈夫なように防音にも配慮をしている。



会派視察報告内容

視察先	下関市役所	応	議会事務局長
視察先住所	山口県下関市南部町1番1号	対	事務課 課長補佐
視察件名	下関市 食育推進計画（食育について）	者	健康促進課長、他
出張日時	2018. 10. 12 13:30～15:30	同行者	かがわ市民クラブ 村上、渡辺、稲次、山本、井上、谷（記）

内容・報

1. 下関市の概要説明 議会事務局長
2. 加古川市議挨拶 村上幹事長
3. 食育推進計画について 健康推進課長
4. 食育について パワーポイントを使用した説明 担当主任
5. いのちをいただく ～職への感謝～ 鑑賞
6. しものせき市政だより 鑑賞
7. 質疑
8. 総評 渡辺 副幹事長

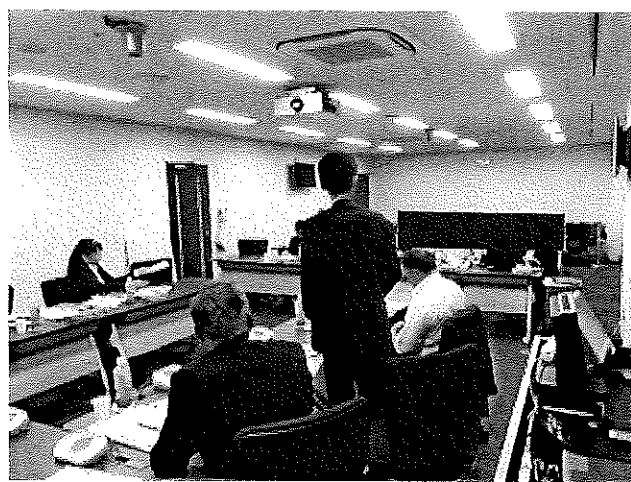


特記事項

【所感】

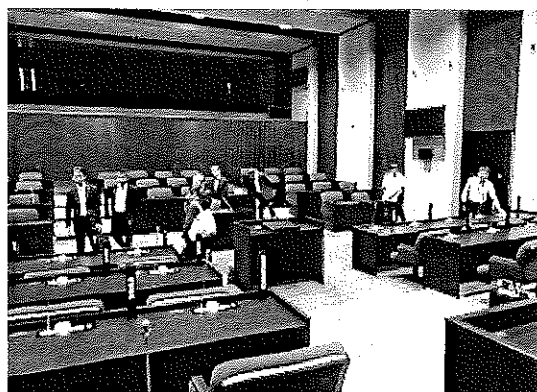
平成25年下関ぶちうま食育計画を作成し、いのちを考え、「生きる力」を育む財産づくりを目指す活動をしています。重点対象者を毎年変え、平成27年は大学の授業の一つに食育教育（講義）、平成28年はシニア向け「職の出前講座」、平成29年、30年は働き盛りあったかごはんプロジェクトと題し、朝ごはん3チャレンジを実施している。このチャレンジは子供だけでご飯とみそ汁を3回作り、チャレンジノートを送ればプレゼントがもらえる大変面白い企画です。*対象は小3～小6保護者世代で、朝ご飯を食べない方が多く、子供が作った朝ごはんを保護者が食べてくれるのではないかと、目の付け所がとても良い企画で、実際に子供が作った朝ごはんは、皆さん喜んで食べているようで、喫食率向上に努めている。説明では、ご飯を作るだけではなく、カードを使って米はどの様に出来たのか？カードの並び替え学習した後、料理に取り込むという、料理を作りながら食育について、楽しく学べる様子が伺えます。ご飯とみそ汁を作って、手伝ってくれるお母さんと会話が増える。家族揃って食事することで会話が増える。子供達が家庭の味を伝える等、一石二鳥・三鳥の素晴らしい企画です。（学ぶところ満載でした。）

第3次食育計画では「つながろう！つなげよう！財産づくりの大きなわ」を目標に掲げ、食のを取り巻く循環を「環（わ）」として意識し、関係者が多様に連携・協調しながら「輪（わ）」を大きく広げ、更なる財産づくりに向けて推進していくとのこと。「いのちを頂く～食への感謝～」、「食べることは生きる事」と言うPR動画作成し、下関市の熱い思いが伝わってきます。推進計画書もイラストや写真を上手く添付しており、楽しく目を通せる資料となっています。食育についてのイベントも多数実施しており、学びが多い視察でした。加古川市も同様の企画・計画を導入出来ないか、検討して行きたい。



9. その他 議場見学

平成26年 2月より本庁舎新館へ議会機能を開始した新しい議場を見学しました。
傍聴者用ディスプレイを2台設置、車いす利用者専用スペース(2台分)設置、難聴者支援設備(受信機)も設置しています。
また、子供連れの方が利用出来るキッズルームを新設していました。
キッズルームについて、加古川市の議場にも設置出来ないものか、検討したい。



傍聴席キッズルーム



視察項目：下関ぶちうま食育プラン～第3次下関市食育推進計画。

日 時：平成30年10月12日 13:30～15:30

会 場：下関市議会委員会室。

「ぶちうま」とは、方言で「めっちゃうまい」です。計画に方言を入れられるように、計画の1つ1つに、距離感というかわかりやすさがある計画でした。次の2点が特に印象に残りました。

- ・なぜ思いがあるように感じたのか？なぜ理解しやすいのか？
- ・なぜ庁内で、共有化ができてるように見えるのか。

計画の理念は、いのちを考え、「生きる力」を育むこと。とされており、「食べることが」「生きること」、食を通じて、命を頂く「食への感謝」を持続けること、何を食べるかではなく、どう食べるかが重要など、理念から派生する枝葉も、わかりやすいと計画だと思います。目的が、すっきりわかりやすことが、具体的な行動を考える時に、すっきりとした手段の選択をされているように思いました。改めて、理念の重要性を確認しました。

「朝ごはんチャレンジ」など、細かいところに「ストーリー」を感じれることが、理解しやすかったり、ずっと入ってきたりする理由だとも思われます。それぞれの人間が当たり前のように願う「よく生きたい」との思いをかなえる手段の1つとして、「食育」を位置づけられているので、「思い」も入りやすく、「ストーリー」にもなり易いのかもかもしれません。

食育推進事業も現在3次計画ということで、1次計画で「周知」、2次計画で「より実践に踏み出せるように」、3次計画で「実践の輪を広げていけるように。」とステップを、毎回上げておられます。

繰り返しになりますが、「何のため」「誰のため」の事業なのかという部分で、スタートである理念と、枝葉のはり方の大事さを、再認識できました。

庁内で共有化されているように感じたのは、担当課が「目的は違うが、手段が同じもの：事業。」を全庁的にうまく巻き込んで計画を立てられてました。そもそもの庁内の風土もあるのかもしれませんが、下関市役所さんは、うまく横ぐしをさす事の出来る庁内環境にあるののかもしれません。

視察中の説明の中に、「JA 下関」さんのお名前が、何度も出てきたのですが、お互いのメリットを認識した上で、しっかり民間との連携を取られていました。

食育推進計画の事業以外で、多くの学び、気付きを頂きましたが、もちろん食育の部分の学びとして、「朝ごはんチャレンジ」「食育カルタ」「食育の心得」「しょくいくすごろく」「おにぎりの日」など多岐にわたる事業についても、有効性も十分理解出来ましたので、よき加古川にできるよう、しっかり取り組んでまいります。

視察報告書

山口県 下関市

「食育推進計画について」

平成 30 年 10 月 21 日

かこがわ市民クラブ) 稲次 誠

視察先	山口県 下関市			視察年月日	平成 30 年 10 月 12 日（金）	
人口	約 26,000 人	世帯	約 116,000 世帯	面積	716.1 km ²	
テーマ	食育推進事業について					
視察場所	下関市役所（保健部健康推進課）					
一般会計予算規模		平成 30 年度予算：1,143 億円				
財政力指数	0.549	実質収支比率	3.2%	公債費比率	10.0%	

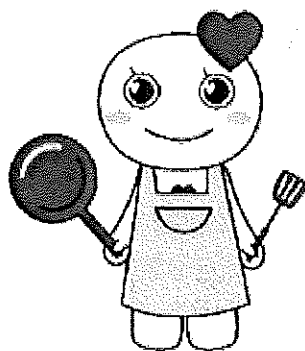
下関市概要

明治 22 年（1889 年）に赤間関市として市政を施行。明治 35 年（1902 年）、赤間関市から下関市に名前が変わり、何度かの合併を行う中、平成 17 年（2005 年）1 市 4 町が合併。また同年、中核市へと移行し現在の下関市となっている。

本州の最西端に位置する下関市は、海と緑に囲まれた自然があふれるまちとなっており、市の 3 分の 2 が海に面している。古くより水産業が盛んであり、「ふく」が有名なことは言うまでもなく、近代捕鯨の発祥の地として鯨有名である。このほか豊かな食文化が残されています。

一方で、日本の歴史が動くとき、その舞台となった下関は「源平ゆかりの地」や「明治維新発祥の地」など数多くの史跡や文化財を有しています。今年は明治維新 150 年を迎えるため市内で様々なイベントが計画されている。

下関市において、毎年国内外から約 700 万人の観光客が訪れ賑わいを見せる一方で、定住者については、毎年約 2,600 人程度の人口が減少している状態であり、中でも高齢化率は 34%を超えており、少子高齢化、人口減少、財政の硬直化等、他市と同様の課題を抱えている。こうした中で、食育推進事業では健康寿命の延長や、郷土愛を育む取り組みとしても、幼少期から「食は生きる力を身につける上で何より重要」として、食に関わる全てに感謝することを大切にし、事業が進められている。



**みんなで食育を
推進しましょう！**

下関市保健部
キャラクター

こころん

「食育推進計画について」

下関市担当者)

議会事務局：■■■■事務局長

■■■■課長

健康部健康推進課：■■■■課長

■■■■課長補佐

1. 視察目的

食育基本法に基づき、県、市と食育推進計画を推進する中で、加古川市においても平成 30 年 3 月に「ウェルネスプランかこがわ（第 2 次健康増進計画・第 2 次食育推進計画）」が策定され、推進されている。

前食育推進計画で定められた 5 項目の柱（推進事項）の最終全体評価として、目標達成はわずか 11.9%、当初より向上が 40.5%、進捗がないが 47.6%であり、効果に繋がらない理由や市民に計画が浸透していないと言う課題、疑問が生じた。

また、加古川市の中学校給食の開始に伴い、平成 32 年度からは運用が始まる（仮称）日岡山学校給食センターは、日岡山の食育エリアと言う事で、食育に関する事業が今後行われるに当たり、本計画に沿った有効活用が行われる様、他市の取り組みを調査するに至りました。

2 次計画が始まったばかりではあるが、これまでの課題、そして新たな取り組みを含め、積極的かつ有効に進めるに当たり、今回先進的に取り組まれている下関市への調査をいたしました

2. 下関市での取組について

【計画の趣旨】

「食」は生命の基本であり、生きる力の源ととらえ、食育は健全な心と身体を培い豊かな人間性を育んでいく基本としている。

【目指す姿】「食」は財産づくりの考えの下、計画が進められている。

第 1 次計画（H20～H24 年度）・・・食育の周知を図る取り組み。

〈目指す姿〉みんなで元気をいただきます ～育もう 豊かな食文化～

第 2 次計画（H25～H29 年度）・・・1 次計画で学んだ内容を踏まえ、新たな目標に向け、実践を促す取り組み。

〈目指す姿〉いのちを考え、「生きる力」を育む財産づくり

第 3 次計画（H30～H34 年度）・・・計画の推進により、地域、個人の財産づくりがつながり、大きな「環（わ）」となるよう取り組む。

〈目指す姿〉つながろう！つなげよう！財産づくりの大きな“わ”

（つながろう！）まずは、あなたが食育の“わ”に入って取り組みましょう。

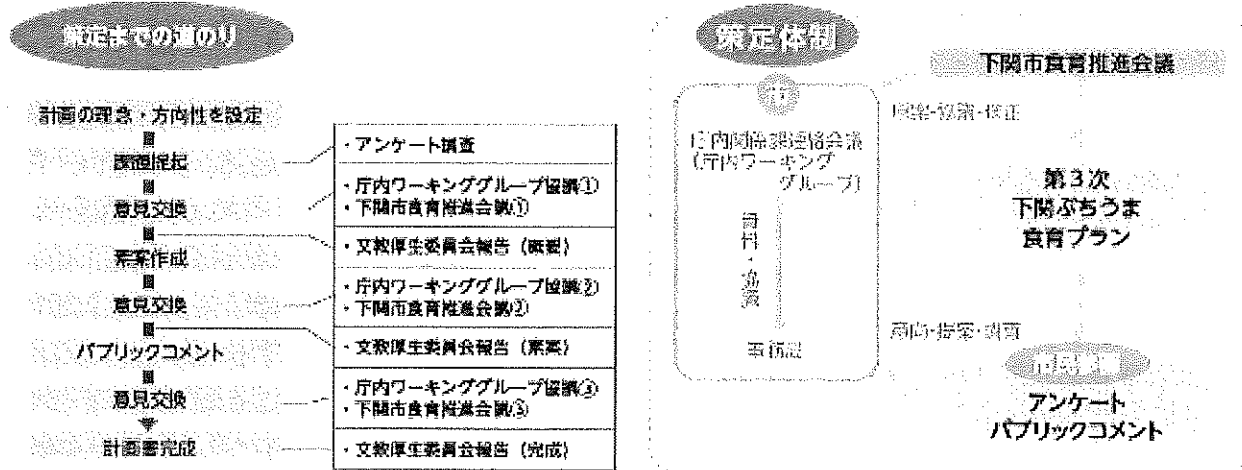
（つなげよう！）そして、今度はあなたが次（次世代や地域）につなぐパイプ役になりましょう。

（財産づくり）健全な心身、豊かな人間性はあなたにとって一生の「財産」。食育は財産づくり。

（大きな“わ”）個々の取組を家庭・次世代・地域へと、みんなで協力して“わ”を大きく広げる。

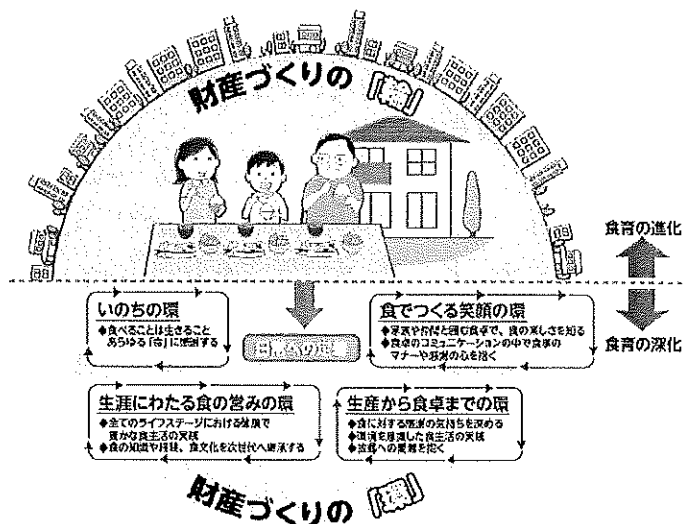
【策定体制】

「下関市食育推進協議会」及び行政の担当課からなる「市内関係課連絡会議（市内ワーキンググループ）」を経て制定。



【取り組みの特徴】※一部抜粋

- 目指す姿が細やかに示され、各々課題と目的が分かりやすくなっている。
- 計画推進に当たり、それぞれの役割を細かく設定され、各々が当事者意識を持ち（理解し）安くなっている。
（行政・市民・事業者でなく⇒市民・家庭・園、学校・企業・生産者・流通、販売者・ボランティア・行政など）



- 計画において、14 項目の目標が設定

されている。これらの目標に対しアクションプランでは、「地域事業（外部団体主催）」、「行政事業（市主催）」それぞれが、主な目標、関連目標と明確に定め取り組まれている。

※アクションプランの策定は、ワーキンググループで話し合われた後、協議会で共有を図られている。

◆本計画が策定される中でこれまでの結果に対し、アンケートを含め現状の調査において、外部委託するのではなく市の職員自らがに行っていること。また、その中で抽出された課題に対し、結果につながらない要因を追究され、一つ一つ丁寧に次の事業へと対策案を盛り込むよう対応されている。

- 5 年計画の中で、年度ごとに狙う世代を替え、丁寧に取り組まれている。

※必要な事業や効果的な事業については継続的に行われている。

【気になる取り組み】

●いのちに対する感謝を伝える取り組み。

- ・子どもの頃から絵本の読み聞かせなど行い、誰かのために亡くなる命、生きるためにいただく命があることを伝え、考えることにより「生きることは食べること。すべての食べ物に命。」いただく命への感謝の心を育む。



●大人の朝食喫食率の向上に、子どもが朝食（ご飯とみそ汁）を3回作るミッション。

- ・なぜ朝食を食べない？どうしたら食べる？⇒さすがに子どもが作ってくれた朝食は食べる。

※この取り組みの背景に、大人の朝食喫食率の向上のみでなく、成人して自炊できない割合が増加している現状で、「最低ご飯とみそ汁を作ることができれば、最低限の栄養が取れる」と未来を見据えた一石二鳥の取り組みである。また、ミッションを達成すれば、認定証とお米と味噌が贈呈される。すると、⇒「もう一度朝ごはんが作れる」なんとも前向きである。

●地産品（特産品）の給食提供

- ・ふぐやクジラ、郷土料理の提供。また山口県の特産品や北九州の郷土料理など、郷土の文化と特産を知る。また郷土愛の醸成につながる。

●小学生の調理実習

- ・ただお米を炊くのではなく、田植えから精米されるまでの過程、調理され食卓に並ぶまでの工程を学び、日頃気付くことのない関わられた全ての人、食事ができることへの感謝へとつながる。また食べ残しなど無駄を出さない。

●市政放送が毎週日曜日に行われており、その中で食育について触れる。（地方民放）

3. 質問及び回答

《質問1》

下関市では、食育推進計画においてどこに主眼を置いて取り組まれているのか。

《回答1》

豊かな自然や文化の特性を活かし、市民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことを主眼としている。また、下関市では、生涯にわたる健全な心身や豊かな人間性は生きる上での「財産」となり、毎日の食の営みや様々な食の体験の積み重ねにより培い、育むことを「財産づくり」ととらえている。

第3次計画では、生産から消費までの食べ物の循環や、こどもから高齢者までのライフサイクル、次世代へ生きる力を伝える伝承のめぐり、食育活動が催事から家庭の日常へと根を下ろす仕組みなど、多くの食を取り巻く環境を「環（わ）」として意識し、財産づくりの深化を目指す。また、個人や各団体が主体的に行ってきた取り組みを、関係者が多様に連携・協力しながら「輪（わ）」を大きく広げ、更なる財産づくりの進化に向けて推進することを目指している。

《質問 2》

加古川市では、糖尿病または糖尿病予備軍となる可能性の人口が多いことから、低減させることや成人病予防といった健康面での色が強い印象であり、若干なじめないイメージを受ける。下関市では「食に関わる命、人への感謝」をはじめ、とても受け入れやすく、ある意味衝撃を感じるところがある。再度この計画に対する思いを確認したい。

《回答 2》

当然、食育を進める先には健康を掲げている。1次計画ではバランスの取れた栄養など健康対策への取り組みが多かったが、2次計画からは命の大切さをいろんな世代に伝える健康計画が必要と考えた。また、目的は違えど食育を軸につながり、意識を持つことが大切である。

《質問 3》

計画を進める中で、庁内（担当課）庁外（各種団体）との連携、進捗の確認及び情報の共有について

《回答 3》

年に2回、下関市食育推進会議を開催し、庁内、庁外との連携、進捗の確認、及び情報の共有を行っている。計画策定時については、庁内ワーキンググループによる会議も実施。

《質問 4》

市内、幼小中学校との連携について『全校に対する実施率及び、主な内容またについて』

《回答 4》

- ・食育として心にとめてほしいことをスローガンにし、まとめたものをポスターにして市内全小中学校へ配布。同じ方向を見て食育に取り組んでいただけるよう協力をお願いしている。また、「しょくいくすごろく」を作成し、市内全小学生へ配布。市内全放課後児童クラブへも配布している。
- ・朝ごはん3チャレンジ事業を市内全小学生3～6年生を対象に実施。今年度で3年目を迎える。朝ごはんにこどもだけでご飯とみそ汁づくりを3回行ってもらい、チャレンジノートに作った感想や食べてもらった人の感想を書いてもらい、提出していただいている。こどもの料理を作る力を育むこと、また保護者世代の朝食喫食率の向上を目的に行っている。
- ・この事業について小学校へ、周知やチャレンジノートの全児童への配布をお願いしている。夏休みの宿題として取り扱ってくれる小学校や家庭科授業と結びつけて実施している学校もある。
- ・学校ではないが、幼小中PTA連合会と連携をし、PTA連合会の研修会で食育をテーマに取り上げてもらい、食育に関係した講演会を開催してもらっている。市内全幼小中学校の保護者が参加されている。
- ・幼保こども園は幼児保育課が主として食育の推進に当たっている。
- ・学校、園が独自で取り組む食育に関する取り組みもある（市場見学など）

《質問 5》『本計画における、これまでの効果について』

《回答 5》

家族そろって食事をする機会や食事の時間が楽しいと感じることも、また、郷土料理を食べたことがある人は増加している。一方で、食事のバランスが取れていない人や食べ残しをする人、食事時の挨拶ができていない大人が増加したことなど、今後取り組むべき課題も多くある。

《質問 6》『今後の課題と展開について』

《回答 6》

いかに食育を日常に定着させていくかが今後の課題。こどもへは、朝ごはん 3 チャレンジを中心に推進を続けていく。年度ごとに併せて、情報発信、食の環境整備など幅広い分野との連携を持ちながら行っていきたい。

4. その他、下関市役所における気付き

・議場キッズルームの整備



・広告掲示（エレベーター、玄関マット）



・議会委員会室（ネット配信システム化）



5. 所感

下関市での食育推進計画の取り組みにおいて、目標は変わらないものの、2次計画から命の大切さを伝えることを取り入れられた。下関市で説明を受けた際、短時間ではありましたが非常に胸に響いたと同時に、様々な取り組みが自身の生活と密接しており、他人事でないと感じました。

加古川市の計画において目標は同等であるが、現状の取り組みにおいて、市民にどれだけ本計画が浸透しているのか、計画を理解し、主体性を持ち取り組む人がいるのかがまず大きな課題と考えます。

下関市においても、目標に満たないところも多くあるものの、まずは市民が身近に感じる取り組み、そして子どもと親を連携させることなど取り組みの工夫は、職員自らが現場、課題を知り細やかに対策を打つと言う熱意と努力であると受け止めました。また目まぐるしく移り変わる時代の中で、忘れてはならない「命への感謝」「食に関わる全てに感謝」を幼少期から伝えること、特に伝えようとする主旨（命・感謝）に対して世代に応じて伝え方（方法）を変え、取り組まれている注力されていること。つまり「格」を置くことは是非とも本市へも取り入れなければならないと考えます。また地産品、郷土料理に触れる機会として、時には栄養面での可否だけでなく長い目で見たバランスを考慮し、特産品を口にする機会を増やすべきと思いました。

この他、歳入対策として、庁舎内を有効に活用し広告掲示を行うなど職員の工夫を参考にしていきたいと思います。

今回の視察を終え、回り道をしてでも大切なことを伝え、成果に導く対応が重要であり、今後の市政運営に反映させていきたいと思います。

以 上

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			30-10-5 5
会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 3 0 年度
項 目	備品消耗品費	金 額	2, 2 8 8 円
内 容	事務用品（プリンターインクリボン）の購入		
支 払 先	エディオン ニッケパークタウン店	支払年月日	平成30年10月9日
備 考	会派での資料印刷用に使用《プリンター消耗品 キヤノンBCI325PGBK～2個》 税込み合計 2, 2 8 8 円		
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

EDION
エディオン

2018年10月09日

領 収 証

かこがわ市民クラブ 様

金 額 ￥2,288 -

但し インク代として

消費税等169円含んでおります

発行者

株式会社 エディオン
(作成地)
大阪府大阪市北区中之島二丁目
3番33号



No.304040081
発行店 ニッケパークタウン店
電話番号 079-456-8008

金種	内訳
現金	2,288
クレジット	0
ギフト券等	0
ポイント	0
振込	0

お買上明細書

発行日 2018年10月09日(火) 13:17

店: 10269 ニッケパークタウン店

電話 079-456-8008

担当者:

No. 10269-304-040081

POS: 304

取引種別: 持帰

プリンタ消耗品

キヤノン

BC1325PGBK

4960999669915

2

¥2,288

合計金額

¥2,288

(内消費税

¥169)

現金領収額

¥2,288

お預り

¥2,300

お釣り

¥12

今回ポイント

ポイント

このポイントはエディオンカード・

IDカード会員様のみに有効です。

商品の返品・交換につきましては

必ずこのレシートをお持ち下さい。

お持ちでないとは対応致しかねます。

上記「お買上明細書」の金額はお買
上金額を表示するもので、領収金額
とは異なる場合がございます。



代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			30-10-6 6

会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 30 年度
項 目	備品消耗品費	金 額	409円
内 容	事務用品（クリアホルダー 30枚入り）の購入		
支 払 先	DCMダイキ 別府店	支払年月日	平成30年10月10日
備 考	会派での資料整理用に使用 《クリアフォルダー30枚入り～1袋》 税込み合計 409円		

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

2018年10月10日（水）

領 収 証

かこがわ市民クラブ 様

¥ 409 -

上記正に領収しました（消費税等 30円を含みます）
 但し、商品代（
 DCMダイキ（株） 〒791-8022愛媛県松山市美沢1-9-1
 DCMダイキ 別府店
 TEL 079-(436)-5001
 ※保管上のお願
 財布等で保管戴く場合は、印刷面を内側に折って保管願います。

0001-5093-7182

* 領収証明細 *

2018年10月10日(水)13:31 レシ0001

016 ナカバヤシ クリアホルダー
 4902205547334 ¥409
 合計 ¥409
 (内税 ¥30)
 (税合計 ¥30)

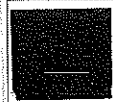
お預り ¥1,010
 お釣り ¥601
 お買上点数 1点



代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			30-10-7 7
会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 30 年度
項 目	調査研究費	金 額	2, 5 3 8 円
内 容	会派視察 (下関市) 手土産		
支 払 先	加古川 春光堂	支払年月日	平成30年10月11日
備 考	手土産 *合計 2,538円		

領収書

領 収 証		No 90205														
かこがわ市民クラブ 殿																
金	<table border="1"> <tr> <td>百</td><td>拾</td><td>万</td><td>千</td><td>百</td><td>拾</td><td>円</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>2</td><td>5</td><td>3</td><td>8</td><td></td> </tr> </table>	百	拾	万	千	百	拾	円			2	5	3	8		収 入 印 紙
百	拾	万	千	百	拾	円										
		2	5	3	8											
但 手土産代として 上記の通り正に領収致しました 平成 30 年 10 月 11 日 加古川市加古川町寺家町11-2 株式会社 春 光 堂 電話 (079) 423-1123 番(代)																
		取扱人認印 														

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				30-10-8 8
会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 3 0 年度	
項 目	資料購入費	金 額	8, 4 0 0 円	
内 容	全国農業新聞 購読料 (1年分)			
支 払 先	加古川市 農業委員会事務局	支払年月日	平成30年10月11日	
備 考	2018年12月～2019年11月 (1年間) *合計 8,400円			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること (書類が多い場合は裏面に続く)				

領 収 書

平成30年10月19日

加古川市議会 かこがわ市民クラブ
谷 真康 様

¥ 8,400-

上記金額、確かに領収いたしました。

【内 容】 全国農業新聞購読料として
(内訳) 平成30年12月～平成31年11月分
月700円×12ヶ月×1部

加古川市農業委員会



代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			30-10-9 9
会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 3 0 年度
項 目	備品消耗品費	金 額	1 0 8 , 0 0 0 円
内 容	ノートパソコンの購入 【富士通 LIFEBOOK A576】		
支 払 先	大西事務（株）	支払年月日	平成30年10月25日
備 考	Thinkpad T520i故障による ノートパソコン1台更新（購入） 《富士通 LIFEBOOK A576/SX FMVA2404KP》 税込み合計 108,000円		
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			
大西事務（株） 納品書 添付			
村上議員 用			

振込先 銀行 支店 (1 / 1)

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			30-10-10 10
会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 30 年度
項 目	資料購入費	金 額	4,428円
内 容	BAN-net15Mコース利用料 (2018/9/1~9/30)		
支 払 先	BAN-BANネットワークス(株)	支払年月日	平成30年10月26日
備 考	会派執務室用利用料 *窓口へ直接支払い		
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること (書類が多い場合は裏面に続く)			

領 収 証		加古川市議会 かこがわ市民クラブ 様 No. 006719	
★		¥ 4428.-	
内 訳		但 9月ご利用料と12	
現金		H30年10月26日 上記正に領収いたしました	
小切手	/		
手 形	/		
消費税額等 (%)			
コクヨ ウケ-08		加古川市加古川町粟津26番地の2 BAN-BANネットワークス株式会社 	

代 表 者	經理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			30-11-1 //
会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 3 0 年度
項 目	備品消耗品費	金 額	1 5 , 6 6 0 円
内 容	会派執務室備付けコピー機のリース代（1 0 月分）		
支 払 先	シャープファイナンス	支払年月日	平成 3 0 年 1 1 月 5 日
備 考	会派政務活動用資料の印刷に使用		
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

SHARP

領 収 証

領収証番号 8K10740

発行日 平成30年11月10日

加古川市議会 かこがわ市民クラブ 御中

拝啓 平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
お支払代金の領収証をご送付させていただきますので、ご確認
の上ご査収下さいますようお願い申し上げます。 敬具

下記金額正に領収致しました。
尚、内訳は右記の通りとなっております。

金 額 ￥15,660

金額を訂正したもの、領収証番号が
機械印字されていないもの及び
会社印がないものは無効です。

印紙税申告納
付につき東税
務署承認済

〒541-0052
大阪市中央区安土町2丁目3-13 大阪国
際ビルディング
シャープファイナンス株式会社
近畿財務局長(12)第00239号



領 収 内 容 内 訳				
領 収 日	お支払方法		金 額	
	ご契約番号			
平成 3 0 年	口座振替		1 5 6 6 0	円
1 1 月 5 日				
合 計			1 5 6 6 0	

<お問い合わせ窓口>

〒541-0052
大阪市中央区安土町2丁目3-13
大阪国際ビルディング
シャープファイナンス株式会社
事務センター
TEL 06-4964-6131
FAX 06-4964-6132

675-8501

兵庫県加古川市加古川町北在家2000

加古川市議会

かこがわ市民クラブ 御中

()

(お問い合わせ窓口)

541-0052

大阪市中央区安土町2丁目3-13

大阪国際ビルディング

シャープファイナンス(株)

事務センター

06-4964-6307

[営業時間 9時~17時30分(土、日、祝日を除く)]

ご利用の内容

お支払日	毎月 3 日	お支払方法	口座振替
ご契約日	平成28年11月11日	お問い合わせ番号	
商品名	デジタルカラーフクロウキ ※2品目以上ご利用の場合は代表商品のみ表示しております。		
リース期間	平成28年11月11日から 平成31年11月10日まで (36ヵ月)		
お支払合計額	563,760 円	内消費税額	41,760 円

※口座振替ご指定金融機関

※お客様の情報を保護するため、
口座番号は表示していません。

銀行		支店		口座番号*****
預金種別		口座名義人	かこがワシミクラグ カイケ タニ マサヲ	

お取扱店 大西事務株式会社

TEL 079-420-9810

お支払明細

作成日 平成30年11月25日

このたびは、シャープファイナンスをご利用いただき誠にありがとうございます。
ご利用の内容および月々のお支払につきまして下記の通りご案内いたしますので、
ご確認のうえご完済まで大切に保管いただきますようお願い申し上げます。
今後とも、シャープファイナンスをご利用賜りますようお願い申し上げます。

ページ 1-1

お支払 回数	お支払 年・月	お支払金額	内 消費税額	お支払後の 残 高
1	29 1	15,660 円	1,160 円	5,481,000 円
2	29 1	15,660 円	1,160 円	5,324,440 円
3	29 2	15,660 円	1,160 円	5,167,880 円
4	29 3	15,660 円	1,160 円	5,011,320 円
5	29 4	15,660 円	1,160 円	4,854,760 円
6	29 5	15,660 円	1,160 円	4,698,200 円
7	29 6	15,660 円	1,160 円	4,541,640 円
8	29 7	15,660 円	1,160 円	4,385,080 円
9	29 8	15,660 円	1,160 円	4,228,520 円
10	29 9	15,660 円	1,160 円	4,071,960 円
11	29 10	15,660 円	1,160 円	3,915,400 円
12	29 11	15,660 円	1,160 円	3,758,840 円
13	29 12	15,660 円	1,160 円	3,602,280 円
14	30 1	15,660 円	1,160 円	3,445,720 円
15	30 2	15,660 円	1,160 円	3,289,160 円
16	30 3	15,660 円	1,160 円	3,132,600 円
17	30 4	15,660 円	1,160 円	2,976,040 円
18	30 5	15,660 円	1,160 円	2,819,480 円
19	30 6	15,660 円	1,160 円	2,662,920 円
20	30 7	15,660 円	1,160 円	2,506,360 円
21	30 8	15,660 円	1,160 円	2,349,800 円
22	30 9	15,660 円	1,160 円	2,193,240 円
23	30 10	15,660 円	1,160 円	2,036,680 円
24	30 11	15,660 円	1,160 円	1,880,120 円
25	30 12	15,660 円	1,160 円	1,723,560 円
26	31 1	15,660 円	1,160 円	1,567,000 円
27	31 2	15,660 円	1,160 円	1,410,440 円
28	31 3	15,660 円	1,160 円	1,253,880 円
29	31 4	15,660 円	1,160 円	1,097,320 円
30	31 5	15,660 円	1,160 円	940,760 円
31	31 6	15,660 円	1,160 円	784,200 円
32	31 7	15,660 円	1,160 円	627,640 円
33	31 8	15,660 円	1,160 円	471,080 円
34	31 9	15,660 円	1,160 円	314,520 円
35	31 10	15,660 円	1,160 円	157,960 円
36	31 11	15,660 円	1,160 円	0 円

※本書状についてのお問い合わせは、「お問い合わせ番号」をお申し出の上、弊社窓口までご連絡下さい。

消費税は月々のお支払金額に含まれています。

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			30-11-2 / 2
会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 3 0 年度
項 目	資料作成費	金 額	2 1 , 4 0 4 円
内 容	会派執務室設置コピー機のコピー代（10月分）		
支 払 先	大西事務株式会社	支払年月日	平成30年11月6日
備 考	会派の市政関係資料のコピーに要した費用の支出		
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

員 係

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			30-11-3 13
会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 3 0 年度
項 目	資料購入費	金 額	4,428円
内 容	BAN-net 15Mコース利用料 (2018/10/1~10/31)		
支 払 先	BAN-BANネットワークス(株)	支払年月日	平成30年11月27日
備 考	会派執務室用利用料 *自動引き落とし		
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く） 2018年11月分より、自動引き落としにしました。			

[illegible]

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			30-11-4 14
会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 30 年度
項 目	資料購入費	金 額	1,910円
内 容	平成28年熊本地震 熊本市震災記録誌～復旧・復興に向けて～ 震災からの1年間の記録 購入		
支 払 先	日本郵便㈱	支払年月日	平成30年11月22日
備 考	定額小為替 1,400円分 (書籍代 1,200円+手数料 200円) レーターパック 510円 (書籍の送料として)		
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること (書類が多い場合は裏面に続く)			

領 収 証	No. _____
平成30年 11月26日	
かにかわ市民クラブ 様	
¥ 1,200.-	
但 書籍代として 上記正に領収いたしました。	
熊本市中央区手取本町1番1号 熊本市役所職員売店	

定額小為替金受領証書

10234-984446

1,000 円

料 金 100 円



(お客さま控)

定額小為替金受領証書

02293-005582

200 円

料 金 100 円



(お客さま控)

領収書

かにかわ市民クラブ 様

[販売]		
レターパックプラス (510円)		
510円	1枚	¥510
小 計		
		¥510
課税計		¥0
(内消費税等)		¥0)
非課税計		¥510
△ 計		
合計		¥510
お預り金額		¥510



〒100-8792 日本郵便株式会社
 東京都千代田区大手町2-3-1
 取扱日時：2018年11月22日 12:17
 担当：[blacked out]
 発行No. 181122J8565 端N68箱03
 連絡先：加古川郵便局
 TEL: 079-422-3383

＜書籍表紙＞

平成28年熊本地震
熊本市 震災記録誌

～復旧・復興に向けて～
発災からの1年間の記録

平成30年3月

熊 本 市

代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号
			30-12-1 15
会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 3 0 年度
項 目	備品消耗品費	金 額	1 5, 6 6 0 円
内 容	会派執務室備付けコピー機のリース代（1 1 月分）		
支 払 先	シャープファイナンス	支払年月日	平成 3 0 年 1 2 月 3 日
備 考	会派政務活動用資料の印刷に使用		
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）			

SHARP

領 収 証

領収証番号 8L10P02

発行日 平成30年12月10日

加古川市議会 かこがわ市民クラブ 御中

拝啓 平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
お支払代金の領収証をご送付させていただきますので、ご確認
の上ご査収下さいますようお願い申し上げます。 敬具

下記金額正に領収致しました。
尚、内訳は右記の通りとなっております。

金 額 ￥15,660

金額を訂正したもの、領収証番号が
機械印字されていないもの及び
会社印がないものは無効です。

印紙税申告納
付につき東税
務署承認済

〒541-0052
大阪市中央区安土町2丁目3-13 大阪国
際ビルディング

シャープファイナンス株式会社

近畿財務局長(12)第00239号



領 収 内 容 内 訳

領収日	お支払方法	金 額
	ご契約番号	
平成30年 12月 3日	口座振替	15,660
合 計		15,660

<お問い合わせ窓口>

〒541-0052
大阪市中央区安土町2丁目3-13
大阪国際ビルディング
シャープファイナンス株式会社
事務センター
TEL 06-4964-6131
FAX 06-4964-6132

675-8501

兵庫県加古川市加古川町北在家2000

加古川市議会

かこがわ市民クラブ 御中

()

(お問い合わせ窓口)

541-0052
大阪市中央区安土町2丁目3-13
大阪国際ビルディング

シャープファイナンス(株)

事務センター

06-4964-6307

[営業時間 9時～17時30分(土、日、祝日を除く)]

ご利用の内容

お支払日	毎月 3 日	お支払方法	口座振替
ご契約日	平成28年11月11日	お問い合わせ番号	
商品名	デジタルカラーフクロウキ ※2品目以上ご利用の場合は代表商品のみ表示しております。		
リース期間	平成28年11月11日から 平成31年11月10日まで (36ヵ月)		
お支払合計額	563,760円	内消費税額	41,760円

※口座振替ご指定金融機関

※お客様の情報を保護するため、
口座番号は表示しておりません。

銀行		支店		口座番号	*****
預金種別		口座名義人	カコガワシンクラフ カイケイ タニ マサヤ		

お取扱店

大西事務株式会社

TEL 079-420-9810

お支払明細

作成日 平成30年11月25日

このたびは、シャープファイナンスをご利用いただき誠にありがとうございます。
ご利用の内容および月々のお支払につきまして下記の通りご案内いたしますので、
ご確認のうえご完済まで大切に保管いただきますようお願い申し上げます。
今後とも、シャープファイナンスをご利用賜りますようお願い申し上げます。

ページ 1-1

お支払 回数	お支払 年・月	お支払金額	内 消費税額	お支払後の 残 高
1	29: 1	15,660円	1,160円	548,100円
2	29: 1	15,660	1,160	532,440
3	29: 2	15,660	1,160	516,780
4	29: 3	15,660	1,160	501,120
5	29: 4	15,660	1,160	485,460
6	29: 5	15,660	1,160	469,800
7	29: 6	15,660	1,160	454,140
8	29: 7	15,660	1,160	438,480
9	29: 8	15,660	1,160	422,820
10	29: 9	15,660	1,160	407,160
11	29: 10	15,660	1,160	391,500
12	29: 11	15,660	1,160	375,840
13	30: 1	15,660	1,160	360,180
14	30: 2	15,660	1,160	344,520
15	30: 3	15,660	1,160	328,860
16	30: 4	15,660	1,160	313,200
17	30: 5	15,660	1,160	297,540
18	30: 6	15,660	1,160	281,880
19	30: 7	15,660	1,160	266,220
20	30: 8	15,660	1,160	250,560
21	30: 9	15,660	1,160	234,900
22	30: 10	15,660	1,160	219,240
23	30: 11	15,660	1,160	203,580
24	31: 1	15,660	1,160	187,920
25	31: 2	15,660	1,160	172,260
26	31: 3	15,660	1,160	156,600
27	31: 4	15,660	1,160	140,940
28	31: 5	15,660	1,160	125,280
29	31: 6	15,660	1,160	109,620
30	31: 7	15,660	1,160	93,960
31	31: 8	15,660	1,160	78,300
32	31: 9	15,660	1,160	62,640
33	31: 10	15,660	1,160	46,980
34	31: 11	15,660	1,160	31,320
35				15,660
36				0

※本書状についてのお問い合わせは、「お問い合わせ番号」をお申し出の上、弊社窓口までご連絡下さい。

消費税は月々のお支払金額に含まれています。

		代 表 者		経理責任者	
					
支 払 伝 票					経理番号
					30-12-2 16
会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 3 0 年度		
項 目	資料作成費	金 額	1 7 , 1 8 7 円		
内 容	会派執務室設置コピー機のコピー代（1 1 月分）				
支 払 先	大西事務株式会社	支払年月日	平成 3 0 年 1 2 月 4 日		
備 考	会派の市政関係資料のコピーに要した費用の支出				
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）					

納品書

- ビジネス用品とパソコンOA機器 -

大西事務株式会社

兵庫県加古川市尾上町今福405-2

中古パソコン通販 079-420-3991 店舗 079-420-9821
店舗(修理) 079-420-9830 外商部 079-420-9810

TEL 079-427-9308
兵庫県加古川市加古川町北在家2000

かこがわ市民クラブ

様

品番	品名	数量	単価	金額
1000007975280 85700004	京セラ コピー用紙 区間料 (フロッパー)	598	20.00	11,960
1000007975290 85700006	京セラ コピー用紙 区間料 (モノクロ)	1,318	3.00	3,954
検針日11/26				
			消費税	1,273
日付 2018 年 11 月 29 日	伝票No. 23 U18B01398	区分 09	合計	17,187

振込先 銀行 支店 (-1/1)

領収証

No 21020

かこがわ市民クラブ 様

平成30年12月4日

			7	1	7	1	8
			7				

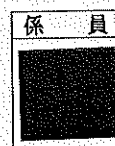
但し (内消費税 円)
伝票No.
上記金額正に領収致しました

収入
印紙

ビジネス用品とOA機器

大西事務株式会社

〒675-0027 兵庫県加古川市尾上町今福405-2
中古パソコン通販 079-420-3991 店舗 079-420-9821
店舗(修理) 079-420-9830 外商部 079-420-9810



代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票		経理番号
		30-12-3 17

会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 30 年度
項 目	広報費	金 額	27,328円
内 容	村上孝義市議会だより（2019年初春号）印刷費 ＜A3／両面4色／コート73／7000部／短編二つ折り＞		
支 払 先	株式会社プリントパック	支払年月日	平成30年12月11日
備 考	村上孝義 市議会だより *印刷費27,220円 消費税込み 振込手数料108円		

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

ご利用明細

本日はご来店いただきありがとうございます。
ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面のご案内もあわせてご確認ください。

SMBC

☆☆お振込☆☆

お振込金額 ￥27,220
振込手数料 ￥108
お取引後残高

お受取人は
銀行
支店

かこがわプリントパック様

お振込人は
かこがわ市民クラブ様

お取扱日30.12.11 電信振込

取扱店	機番	年 月 日	時 刻
4317B		30.12.11	14:59
			4584

銀行番号 店番号 口座番号等

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

三井住友銀行

領 収 書

2018年12月11日

かこがわ市民クラブ 御中

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
下記の金額正に領収いたしました。
何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社プリントパック

〒617-0003

京都府向日市森本町野田3-1

TEL 0120-977-920

FAX 075-935-6890



お支払条件 銀行振込(前払い)

納品場所 ご指定場所

御請求金額 27,220円(税込)

納品期日 7営業日

ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
PAC18187269	品名：村上孝義市議会だより2019年初春号2折 A3 / 両面4色 / コート73 / 7,000部 / 加工1：二つ折り 加工2：	1	27,220	27,220
合 計				27,220

特記事項

金融機関の振込証明書および振込完了画面のプリントアウトが、税務署で認められている正式な払い込みの証明書類となります。
こちらの領収書が精算等にご使用いただけますかどうかは、お客様ご自身であらかじめご確認いただきますようお願い申し上げます。

村上孝義 市議会だより

2019年初春号

発行：加古川市議会

かこがわ市民クラブ

加古川市加古川町北在家 2000

〒675-8501 TEL079-427-9308

「若者世代に選ばれ 高齢者が安心して暮らせる街」を

◆加古川市の更なる発展を

日頃のご支援に感謝いたします。来年の2020年には東京オリンピック・パラリンピックが



開催され、地球温暖化で海に沈む国として知られるツバルの事前合宿の誘致等を行います。又、加古川市は市制施行70周年を迎えます。この記念すべき年を節目に更なる発展を目指します。

そのため、今年2019年には、自助、共助、公助のバランスのとれた「人にやさしい街づくり」を基本に、皆様の幸せと地域の発展、加古川市の更なる発展に頑張ります。

◆第18期がスタート

昨年の2018年7月25日から加古川市議会は18期がスタートした。

私達は6名で、会派「かこがわ市民クラブ」を結成し、私は幹事長に就任し、臨時議会で、渡辺議員が監査委員に就任した。

かこがわ市民クラブは、議員の使命であるチェック機能の発揮と政策提言に努め、又、労使では解決しない課題解決と社会貢献、議会の円滑な運営と活性化、市の課題解決に努めます。

又、岡田市長の4年間の経験を活かした2期目の市政運

営に期待するとともに、是々非々ではありますが市政を支え、議会をリードし、市民の皆様の幸せと市の発展のために努めます。

◆財政の健全化を

厳しい財政への対応のため、行財政改革の強力な推進やあらゆる施策で財政の健全化を図ります。

◆ウエルネス都市の実現

人の幸せという面からは健康が一番です。加古川市は市制50周年の平成12年にウエルネス都市宣言をし、ウエルネスなまちづくりに努力中です。健康長寿のために健康寿命の延伸等に努めます。



◆安全で安心なまちづくり

南海トラフ巨大地震等の自然災害への備えや事故や犯罪防止等が課題です。



今後も、加古川市地域防災計画・水防計画に基づき、安全で安心な災害や絆の強いまちづくりに努めます。

◆当面の課題解決

◇少子高齢化・人口減少社会への対応 子育て支援等の充実等で、若者世代に選ばれ高齢者が安心して暮らせるまちを目指します。

◇東西市民病院の跡地活用的確な方向付けに努力します。



かこがわ市民クラブ

幹事長 村上孝義

◇二市二町の広域でのごみ処理施設の建設 平成34年度稼働に向けて、遺漏なき対応に努めます。

◇公共施設の老朽化対策 高度経済成長時に建設された448施設が大規模改修や建替えを迎え、その費用は中期財政計画の2.4倍となり、財政は危機的な状況が予測されます。

そのために作成した公共施設等総合管理計画では、23.4%の削減が必要となり、施設カルテを作成し、再編計画では平成38年度までに、延べ床面積6.0%の削減を数値目標に、当面、市役所周辺施設(教育系機能を(旧)総合保健センターに集約、勤労会館等を青少年女性センターに集約)等とスポーツ施設の再編(日岡山市民プールの廃止等)を検討します。

◇教育面の充実

小中学校の教室の空調化、中学校給食の計画通りの完成等に努力します。

私達は、今後も「若者世代に選ばれ 高齢者が安心して暮らせる街」の実現に邁進してまいります。

*第4回市議会定例会(平成30年9月)

9月6日開会の市議会では、平成29年度決算認定をはじめ、平成30年度の一般会計補正予算案は総額6億 5,085万7千円、債務負担行為補正では、市内小中学校へのエアコン設置事業(約33.3億円)や東加古川病院跡地活用(約28億円)等です。又、放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部改正等の条例案件や、(仮称)東神吉こども園新築工事請負変更契約締結の契約案件等が提案された。

かこがわ市民クラブは各案件に意見反映し、いずれも、9月28日に原案通り認定、可決、同意された。

○平成29年度決算

平成29年度決算は、一般会計で実質収支2億1,242億円で、39年連続の黒字でした。

歳出の構成比率は、民生費(保育施設の整備で待機児童の解消等の子育て支援や、高齢者や障がいのある方の福祉等を進めた)が42.6%で対前年度比6.2%の増加。総務費(備蓄倉庫の建て替えなどの災害対策等を進めた)は12.5%、衛生費(子育て世代包括支援センターの設置等)が10.9%、を占め、ベスト3です。

<平成29年度一般会計決算>

歳入(A) 816億4,656万円

歳出(B) 812億4,127万円

差引残高(C) 4億 529万円(A-Bの金額)

繰越財源(D) 1億9,287万円(翌年に繰越た事業の財源としての金額)

実質収支(E) 2億1,242万円(C-Dの金額)

○主な平成29年度決算と質疑

Q:子ども・子育て支援事業の委託料396万1,008円について、子育て支援アプリのダウンロード数と活用状況は?

A:子育て支援情報やイベント情報、予防接種の記録等の機能があり、平成30年7月末時点で、3,353件であり、子育て支援の一助として一定の成果が出ている。



Q:農業費の、かこがわ食材学習支援事業委託料174万8,000円の内容と効果は?

A:小学校10校の児童約1,000人を対象に、農家等の関係者に事前に授業として説明してもらった上で、本市の食材を使って調理実習を行った。学校への聞き取り調査の結果、全ての児童から「加古川産の食材への理解度が高まった」との回答があった。

Q:耐震改修促進事業2,013万7,792円に関連して、啓発の進捗状況は?

A:耐震改修の啓発チラシの全戸回覧や、旧耐震基準で建てられた開発団地へのポスティング、簡易耐震診断実施者に対する耐震勧

奨文書の送付などを行った。

○議会事務事業評価

提案推進事業は「現行通り」、病児・病後児保育、看護師配置事業は「拡充」、権現総合公園内キャンプ場運営事業は「拡充」と所管の常任委員会で評価し、次年度予算への提言として決議し議長から市長に決議書を提出した。

○代表質問(3頁参照)



村上孝義幹事長が、会派を代表して市長の考え方を質した。

主な質問項目は「

再質問中の村上議員 ①市長の2期目に臨む抱負と決意等②市長の重点課題への取り組み方針③水道の安全で安心な供給体制④加古川中央市民病院の経営状況等⑤加古川地域保健医療情報システム⑥権現総合公園の現状と今後の考え方について質した。

◇一般質問 稲次議員は「①パブリックコメント手続きの評価と今後の対応②バリアレス縁石の導入」、谷議員は「7月西日本豪雨を教訓とした加古川市の防災」、井上恭子議員は「児童虐待の対策」、山本一郎議員は「事業を広げる話とたたむ話など、市民の『コスト意識』について質した。

第5回定例市議会(12/4~12/18)

平荘湖アクア交流館設置管理条例の廃止等の条例案件、加古川駅南子育てプラザ拡張事業やオリンピック・パラリンピック事前合宿(ツバル国)誘致業務等の2億2,902万円の一般会計の補正予算案件等、人事案件等、35件の議案を審議し、私達は議案に質疑・提言をした。

◇一般質問 谷議員は加古川市の食育推進計画、井上恭子議員は「①SDGsの取り組み②学校給食の徴収を私会計から公会計処理にシフトさせること」について質した。

*代表質問等での 主な説明事項

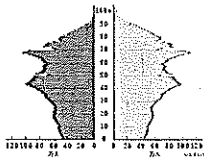
◆市長の2期目に臨む抱負と 決意等について

◇2期目に臨む抱負と決意と
2期目のスローガン、市民満
足度の向上について

(上記は市議会だより参照)

◇人口減少問題について

ある程度の減少は想定した
上で、それに合わせた施策を
講じ減少を緩和し、一年でも早
く横ばいに近づきたい。平成
27年から30年にかけて、総人
口が約3,500人の
減少。15歳から
64歳までの生産
年齢人口は約
6,300人減少、内20歳から39
歳は約4,900人減少し、約77%
を占める。安易な行政サービスの
比較競争による人口の奪い
合いは避けたい。



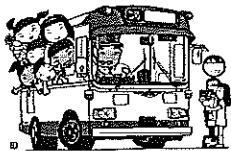
そのため、本市の特徴的な取
組みや魅力をしっかりPRし、
市民の方には「住み続けたい」、
市外の方には「住んでみたい」
と感じて頂けるよう取り組む。

◆重点課題への取り組み方針

◇公共交通機関の整備

平成29年3月策定の「地
域公共交通プラン」に基づ
き、バス路線の再編や新たな
コミュニティ交通の導入に取
り組む

も、市内
路線の
ほぼ全



てが赤字路線で、乗務員不
足も相まって運行本数や利
用者数の減少が続く。

幹線バスの充実強化と地
域の特性に応じた公共交通
の導入を進めたい。

◇小中学校の教室等へのエ
アコンの設置について

従来方式の市直営方式
は、補助金が活用出来るメリ
ットは有るが人的負担が大き
く、段階的な整備になり不利。

DB方式やPFI方式は、補
助金活用が出来、一括発注
でコスト削減効果はあるが、
支援業務が別途必要。

リース方式は、補助金は活
用出来ないが一括発注の効
果があり、事業者の確保と早
期に一斉に実施出来るた
め、リース方式とした。

2020年7月という供用開
始時期は、他市の事例等か
ら教室数等から割り出した。
早期の供用開始も業者の企
画提案に基づき検討する。

遊戯室に設置済の幼稚園
と、避難所としての体育館へ
の設置は今後の懸案事項。

◇協働的探究学習

本市児童生徒が不得意と
する「思考力・判断力・表現
力等」の「わかる学力」の育成
「主体的・対話的で深い学び」
に繋がる授業の実現に向け、
藤村教授の指導の下、全市
に展開している。質の高い学
びの実現で、市の未来を拓
く児童生徒の育成を図る。

◇子育て支援

子育てに喜びや楽しさを
感じる安心して子供を産み育
てることが出来る社会の実現
に向けての取り組みが重要
で、社会全体で取り組む。

「結婚から子育てまでを“ぐ
うっと”応援する緊急PJです
が、結婚から子育てまでを
応援する施策の展開と、施策の
PRを通じたシテープロモー
ションの2つの柱で取り組む。

◆水道の安全安心な供給体制

◇大災害時給水確保(省略)

◇水道管の老朽化・耐震化

対策 平成29年度末で26%
の耐震化。ダウンサイジング
を考慮し50年先を見据えた
新老朽管更新計画を策定。

◇浄水場等施設の災害対策
と広域化・民営化(省略)

◆加古川中央市民病院の経営 状況等について

◇災害時等の安全対策

耐震化は、南海トラフ地震
等を想定した、免震構造と制
震構造を組み合わせたハイ
ブリッドシステムを採用。

水没の危険性は、浸水リス
クにもよるが、
敷地内地盤
の盛土や地
下雨水貯留
槽の設置のほか、主要電気
設備を6階に設置する等して
いる。



災害時を想定した、訓練
や研修をし、PCB マニュアル
の見直しや資機材の整備を
している。想定外の災害対応
の体制づくりを進める。

◇独法の非公務員型採用の
評価とメリット(省略)

◇経営状況 平成29年度は、
19億6,600万円の黒字、マ
ンパワー(医師、看護師、技
師等)の確保も順調。

◇中期計画の達成見通しと
当面の問題点(待ち時間、駐
車場の混雑等)(省略)

◆地域保健医療情報システム

現在のシステムの必要性、
費用負担等を考慮しながら、
この地域にとって必要なシ
ステムの在り方について、引
続き関係機関と協議する。

◆権現総合公園の現状と今後 の考え方

本市の財政状
況等を勘案しながら、規模縮
小の可能性の協議も進め、
現実的方策を模索する。

＊市の課題と事業

◆「環境問題への対応」

◇二市二町の広域でのごみ処理施設の平成34年度稼働も当面の課題です。焼却方式はストーカー方式で、焼却能力は430トン炉です。

稼働までに20%の減量化が必要で、有料化無き20%削減に努力中です。

◇減量化・資源化のため、昨年7月から剪定枝・草の収集を開始。ご協力を。

◆「東市民病院跡地活用」

◇東市民病院跡地 医療機能は応募が無く断念し、東加古川子育てプラザと東加古川公民館を複合型で、東消防署も平成34年度に新築移転し、前面道路を拡張する。

◇夜間急病センター移転と休日昼間救急医療定点化 西市民病院跡地で平成33年開設を目指す。

◆「教育面の充実」

◇中学校給食の実施は、☆平成30年4月(現在の志方給食センター)からは、両荘中学校で実施。

☆平成32年9月(仮称日岡山学校給食センター)から、平岡・氷丘・神吉・陵南・山手・平岡南中で実施予定。

☆平成33年9月(仮称神野台学校給食センター)から、加古川・中部・別府・浜の宮中で。

又、志方・両荘中にも提供予定。(1年繰上げ)

◇小中学校へのエアコンの設置について 今夏の災害的猛暑により、エアコン設置の声が高まり、市立小中学校の、普通教室と特別教室約1,000室にエアコンを設置する。

プロポーザル方式による契約や、教室数が多いこと、

国の補助は受けられないが、全校一斉早期供用開始のため、13年のリース方式とし、平成32年7月1日から供用開始予定。

事業費はイニシャルコストは33.3億円、ランニングコストは6.9億円を見込む。

◇学校園の環境整備 40%台に留まる洋式トイレ早期整備を、代表質問や重要政策提言で提言。

◆「幹線道路等の整備」

◇JR東加古川駅付近立体交差事業 駅東の上土堤一踏切等の開かずの踏切解消と、県道八幡別府線の陸橋の渋滞・安全対策等のため。範囲は、西は県道野口尾上線の山ノ越信号南の陸橋から、東は国道2号線の福山通運東の土山陸橋間の約3.7km。

平成30年11月から県と市で、妥当性調査に入る。

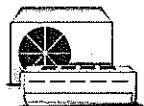
平成31年度の当初予算に対する重要政策提言 H30. 10. 25

安全で安心な魅力あるまちづくり

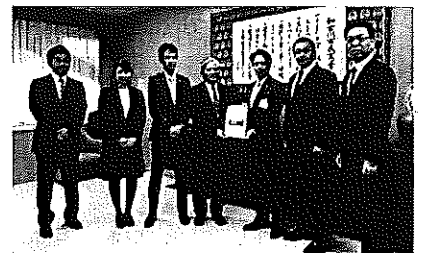
かがわ市民クラブは岡田市長に対し、平成31年度の当初予算に対する82項目の重要政策提言をまとめ提出した。村上幹事長から市長に提言書の提出・挨拶、市長が挨拶、稲次政調会長から主な提言項目のポイントについて説明し、理事者と意見交換と提言をした。

主な提言項目

1. 市民の誰もが幸福を実感出来る総合計画の着実な推進 2. 人口減少社会への対応 4. 健全な財政運営の推進 5. 連携中枢都市圏制度の着実な推進 8. 公契約条例制定に向けた検討 10. 職員コンプライアンスの意識向上 11. 市職員の働き方改革 12. 自然災害対策と危機管理体制の充実 13. 加古川東市民病院跡地の有効活用 15. 高齢化対策と協働のまちづくり 19. 教育日本一に向けた施策展開 25. 学校園のエアコン等環境整備の推進 34. 加古川中央市民病院の運営の充実



37. こども医療費の完全無料化の実現 40. 待機児童解消ゼロへの取り組み 43. 高齢者福祉と支援の推進(生活支援サービス体制の早期構築) 44. 認知症対策の充実 54. ごみ減量化とごみ分別への指導の強化(有料化無き20%削減の実現を) 50. 加古川夜間・休日急病センターの充実 62. JR危険踏切改良事業の推進(特に上土堤踏切) 72. 安全で安心、良質なおいしい水の安定供給体制の整備



代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票			経理番号 30-12-4 18
会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 30 年度
項 目	広報費	金 額	15,498円
内 容	村上孝義市議会だより（2019年初春号）印刷費 ＜A3／両面4色／コート73／2500部／長辺二つ折りクロス短辺Z折り＞		
支 払 先	株式会社プリントパック	支払年月日	平成30年12月11日
備 考	村上孝義 市議会だより ＊印刷費15,390円 消費税込み 振込手数料108円		

領収書又はこれに準ずる書類を添付すること（書類が多い場合は裏面に続く）

ご利用明細

本日はご来店いただきありがとうございます。
ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面のご案内もあわせてごらんください。

SMBC

☆☆お振込☆☆

お振込金額 ¥15,390
振込手数料 ¥108

お受取人は
銀行
支店

か）プリントパック様

お振込人は
かこがワツミソクラフ様

お取扱日30.12.11 電信振込

取扱店	機番	年 月 日	時 刻
431	78	30.12.11	15:09
			4587
銀行番号	店番号	口座番号等	

三井住友銀行

税 務 署 承 認 済
付 紙 税 申 告 納
に つ き 廻 町

領 収 書

2018年12月11日

かがわ市民クラブ 御中

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
下記の金額正に領収いたしました。
何卒よろしくお願い申し上げます。

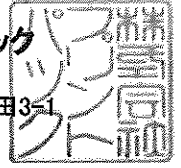
株式会社プリントパック

〒617-0003

京都府向日市森本町野田3-1

TEL 0120-977-920

FAX 075-935-6890



お支払条件 銀行振込(前払い)

納品場所 ご指定場所

御請求金額 15,390円(税込)

納品期日 7営業日

ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
PAC18187641	品名：村上孝義市議会だより2019年初春号Z折 A3 / 両面4色 / コート73 / 2,500部 / 加工1：長辺2つ折りクロス短辺Z折り 加工2：	1	15,390	15,390
合 計				15,390

特記事項

金融機関の振込証明書および振込完了画面のプリントアウトが、税務署で認められている正式な払い込みの証明書類となります。
こちらの領収書が精算等にご使用いただけますかどうかは、お客様ご自身であらかじめご確認いただきますようお願い申し上げます。

村上孝義 市議会だより

2019年初春号

発行：加古川市議会

かこがわ市民クラブ

加古川市加古川町北在家 2000

〒675-8501 TEL 079-427-9308

「若者世代に選ばれ 高齢者が安心して暮らせる街」を

◆加古川市の更なる発展を

日頃のご支援に感謝いたします。来年の2020年には東京オリンピック・パラリンピックが



開催され、地球温暖化で海に沈む国として知られるツバルの事前合宿の誘致等を行います。又、加古川市は市制施行70周年を迎えます。この記念すべき年を節目に更なる発展を目指します。

そのため、今年2019年には、自助、共助、公助のバランスのとれた「人にやさしい街づくり」を基本に、皆様の幸せと地域の発展、加古川市の更なる発展に頑張ります。

◆第18期がスタート

昨年の2018年7月25日から加古川市議会は18期がスタートした。

私達は6名で、会派「かこがわ市民クラブ」を結成し、私は幹事長に就任し、臨時議会で、渡辺議員が監査委員に就任した。

かこがわ市民クラブは、議員の使命であるチェック機能の発揮と政策提言に努め、又、労使では解決しない課題解決と社会貢献、議会の円滑な運営と活性化、市の課題解決に努めます。

又、岡田市長の4年間の経験を活かした2期目の市政運

営に期待するとともに、是々非々ではありますが市政を支え、議会をリードし、市民の皆様の幸せと市の発展のために努めます。

◆財政の健全化を

厳しい財政への対応のため、行財政改革の強力な推進やあらゆる施策で財政の健全化を図ります。

◆ウエルネス都市の実現

人の幸せという面からは健康が一番です。加古川市は市制50周年の平成12年にウエルネス都市宣言をし、ウエルネスなまちづくりに努力中です。健康長寿のために健康寿命の延伸等に努めます。



◆安全で安心なまちづくり

南海トラフ巨大地震等の自然災害への備えや事故や犯罪防止等が課題です。



今後も、加古川市地域防災計画・水防計画に基づき、安全で安心な災害や絆の強いまちづくりに努めます。

◆当面の課題解決

◇少子高齢化・人口減少社会への対応 子育て支援等の充実等で、若者世代に選ばれ高齢者が安心して暮らせるまちを目指します。

◇東西市民病院の跡地活用的確な方向付けに努力します。



かこがわ市民クラブ

幹事長 村上孝義

◇二市二町の広域でのごみ処理施設の建設 平成34年度稼働に向けて、遺漏なき対応に努めます。

◇公共施設の老朽化対策 高度経済成長時に建設された448施設が大規模改修や建替えを迎え、その費用は中期財政計画の2.4倍となり、財政は危機的な状況が予測されます。

そのために作成した公共施設等総合管理計画では、23.4%の削減が必要となり、施設カルテを作成し、再編計画では平成38年度までに、延べ床面積6.0%の削減を数値目標に、当面、市役所周辺施設(教育系機能を(旧)総合保健センターに集約、勤労会館等を青少年女性センターに集約)等とスポーツ施設の再編(日岡山市民プールの廃止等)を検討します。

◇教育面の充実

小中学校の教室の空調化、中学校給食の計画通りの完成等に努力します。

私達は、今後も「若者世代に選ばれ 高齢者が安心して暮らせる街」の実現に邁進してまいります。

※第4回市議会定例会(平成30年9月)

9月6日開会の市議会では、平成29年度決算認定をはじめ、平成30年度の一般会計補正予算案は総額6億 5,085万7千円、債務負担行為補正では、市内小中学校へのエアコン設置事業(約33.3億円)や東加古川病院跡地活用(約28億円)等です。又、放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部改正等の条例案件や、(仮称)東神吉こども園新築工事請負変更契約締結の契約案件等が提案された。

かこがわ市民クラブは各案件に意見反映し、いずれも、9月28日に原案通り認定、可決、同意された。

○平成29年度決算

平成29年度決算は、一般会計で実質収支2億1,242億円で、39年連続の黒字でした。

歳出の構成比率は、民生費(保育施設の整備で待機児童の解消等の子育て支援や、高齢者や障がいのある方の福祉等を進めた)が42.6%で対前年度比6.2%の増加。総務費(備蓄倉庫の建て替えなどの災害対策等を進めた)は12.5%、衛生費(子育て世代包括支援センターの設置等)が10.9%、を占め、ベスト3です。

＜平成29年度一般会計決算＞

歳入(A) 816億4,656万円

歳出(B) 812億4,127万円

差引残高(C) 4億 529万円(A-Bの金額)

繰越財源(D) 1億9,287万円(翌年に繰越た事業の財源としての金額)

実質収支(E) 2億1,242万円(C-Dの金額)

○主な平成29年度決算と質疑

Q:子ども・子育て支援事業の委託料396万1,008円について、子育て支援アプリのダウンロード数と活用状況は？

A:子育て支援情報やイベント情報、予防接種の記録等の機能があり、平成30年7月末時点で、3,353件であり、子育て支援の一助として一定の成果が出ている。



Q:農業費の、かこがわ食材学習支援事業委託料174万8,000円の内容と効果は？

A:小学校10校の児童約1,000人を対象に、農家等の関係者に事前に授業として説明してもらった上で、本市の食材を使って調理実習を行った。学校への聞き取り調査の結果、全ての児童から「加古川産の食材への理解度が高まった」との回答があった。

Q:耐震改修促進事業2,013万7,792円に関連して、啓発の進捗状況は？

A:耐震改修の啓発チラシの全戸回覧や、旧耐震基準で建てられた開発団地へのポスティング、簡易耐震診断実施者に対する耐震勧

奨文書の送付などを行った。

○議会事務事業評価

提案推進事業は「現行通り」、病児・病後児保育、看護師配置事業は「拡充」、権現総合公園内キャンプ場運営事業は「拡充」と所管の常任委員会で評価し、次年度予算への提言として決議し議長から市長に決議書を提出した。

○代表質問(3頁参照)



村上孝義幹事長が、会派を代表して市長の考え方を質した。

主な質問項目は「

再質問中の村上議員 ①市長の2期目に臨む抱負と決意等②市長の重点課題への取り組み方針③水道の安全で安心な供給体制④加古川中央市民病院の経営状況等⑤加古川地域保健医療情報システム⑥権現総合公園の現状と今後の考え方」について質した。

◇一般質問 稲次議員は「①パブリックコメント手続きの評価と今後の対応②バリアレス縁石の導入」、谷議員は「7月西日本豪雨を教訓とした加古川市の防災」、井上恭子議員は「児童虐待の対策」、山本一郎議員は「事業を広げる話とたたむ話など、市民の『コスト意識』」について質した。

第5回定例市議会(12/4~12/18)

平荘湖アクア交流館設置管理条例の廃止等の条例案件、加古川駅南子育てプラザ拡張事業やオリンピック・パラリンピック事前合宿(ツバル国)誘致業務等の2億2,902万円の一般会計の補正予算案件等、人事案件等、35件の議案を審議し、私達は議案に質疑・提言をした。

◇一般質問 谷議員は加古川市の食育推進計画、井上恭子議員は「①SDGsの取り組み②学校給食の徴収を私会計から公会計処理にシフトさせること」について質した。

*代表質問等での 主な説明事項

◆市長の2期目に臨む抱負と 決意等について

◇2期目に臨む抱負と決意と
2期目のスローガン、市民満
足度の向上について
(上記は市議会だより参照)

◇人口減少問題について

ある程度の減少は想定した
上で、それに合わせた施策を
講じ減少を緩和し、一年でも早
く横ばいに近づきたい。平成
27年から30年にかけて、総人
口が約3,500人の
減少。15歳から
64歳までの生産
年齢人口は約
6,300人減少、内20歳から39
歳は約4,900人減少し、約77%
を占める。安易な行政サービスの
比較競争による人口の奪い
合いは避けたい。

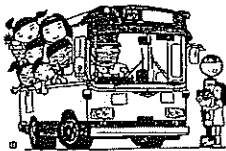
そのため、本市の特徴的な取
り組みや魅力をしっかりPRし、
市民の方には「住み続けたい」、
市外の方には「住んでみたい」
と感じて頂けるよう取り組む。

◆重点課題への取り組み方針

◇公共交通機関の整備

平成29年3月策定の「地
域公共交通プラン」に基づ
き、バス路線の再編や新たな
コミュニティ交通の導入に取り
組む

も、市内
路線の
ほぼ全



てが赤字路線で、乗務員不
足も相まって運行本数や利
用者数の減少が続く。

幹線バスの充実強化と地
域の特性に応じた公共交通
の導入を進めたい。

◇小中学校の教室等へのエ
アコンの設置について

従来方式の市直営方式
は、補助金が活用出来るメリ
ットは有るが人的負担が大き
く、段階的な整備になり不利。

DB方式やPFI方式は、補
助金活用が出来、一括発注
でコスト縮減効果はあるが、
支援業務が別途必要。

リース方式は、補助金は活
用出来ないが一括発注の効
果が有り、事業者の確保と早
期に一斉に実施出来るため、
リース方式とした。

2020年7月という供用開
始時期は、他市の事例等か
ら教室数等から割り出した。
早期の供用開始も業者の企
画提案に基づき検討する。

遊戯室に設置済の幼稚園
と、避難所としての体育館へ
の設置は今後の懸案事項。

◇協働的探究学習

本市児童生徒が不得意と
する「思考力・判断力・表現
力等」の「わかる学力」の育成
「主体的・対話的で深い学び」
に繋がる授業の実現に向け、
藤村教授の指導の下、全市
に展開している。質の高い学
びの実現で、市の未来を拓
く児童生徒の育成を図る。

◇子育て支援

子育てに喜びや楽しみを
感じる安心して子供を産み育
てることが出来る社会の実現
に向けての取り組みが重要
で、社会全体で取り組む。

「結婚から子育てまでを“ぐ
うっ”応援する緊急PJです
が、結婚から子育てまでを
応援する施策の展開と、施策の
PRを通じたシテープロモー
ションの2つの柱で取り組む。

◆水道の安全安心な供給体制

◇大災害時給水確保(省略)

◇水道管の老朽化・耐震化

対策 平成29年度末で26%
の耐震化。ダウンサイジング
を考慮し50年先を見据えた
新老朽管更新計画を策定。

◇浄水場等施設の災害対策
と広域化・民営化(省略)

◆加古川中央市民病院の経営 状況等について

◇災害時等の安全対策

耐震化は、南海トラフ地震
等を想定した、免震構造と制
震構造を組み合わせたハイ
ブリッドシステムを採用。

水没の危険性は、浸水リス
クにもよるが、
敷地内地盤
の盛土や地
下雨水貯留
槽の設置のほか、主要電気
設備を6階に設置する等して
いる。



災害時を想定した、訓練
や研修をし、PCB マニュアル
の見直しや資機材の整備を
している。想定外の災害対応
の体制づくりを進める。

◇独法の非公務員型採用の
評価とメリット(省略)

◇経営状況 平成29年度は、
19億6,600万円の黒字、マ
ンパワー(医師、看護師、技
師等)の確保も順調。

◇中期計画の達成見通しと
当面の問題点(待ち時間、駐
車場の混雑等)(省略)

◆地域保健医療情報システム

現在のシステムの必要性、
費用負担等を考慮しながら、
この地域にとって必要なシ
ステムの在り方について、引
続き関係機関と協議する。

◆権現総合公園の現状と今後

の考え方 本市の財政状
況等を勘案しながら、規模縮
小の可能性の協議も進め、
現実的方策を模索する。

*市の課題と事業

◆「環境問題への対応」

◇二市二町の広域でのごみ処理施設の平成34年度稼働も当面の課題です。焼却方式はストーカー方式で、焼却能力は430トン炉です。

稼働までに20%の減量化が必要で、有料化無き20%削減に努力中です。

◇減量化・資源化のため、昨年7月から剪定枝・草の収集を開始。ご協力を。

◆「東市民病院跡地活用」

◇東市民病院跡地 医療機能は応募が無く断念し、東加古川子育てプラザと東加古川公民館を複合型で、東消防署も平成34年度に新築移転し、前面道路を拡張する。

◇夜間急病センター移転と休日昼間救急医療定点化 西市民病院跡地で平成33年開設を目指す。

◆「教育面の充実」

◇中学校給食の実施は、☆平成30年4月(現在の志方給食センター)からは、両荘中学校で実施。

☆平成32年9月(仮称)日岡山学校給食センター)から、平岡・氷丘・神吉・陵南・山手・平岡南中で実施予定。

☆平成33年9月(仮称)神野台学校給食センター)から、加古川・中部・別府・浜の宮中で。

又、志方・両荘中にも提供予定。(1年繰上げ)

◇小中学校へのエアコンの設置について 今夏の災害的猛暑により、エアコン設置の声が高まり、市立小中学校の、普通教室と特別教室約1,000室にエアコンを設置する。

プロポーザル方式による契約や、教室数が多いこと、

国の補助は受けられないが、全校一斉早期供用開始のため、13年のリース方式とし、平成32年7月1日から供用開始予定。

事業費はイニシャルコストは33.3億円、ランニングコストは6.9億円を見込む。

◇学校園の環境整備 40%台に留まる洋式トイレ早期整備を、代表質問や重要政策提言で提言。

◆「幹線道路等の整備」

◇JR東加古川駅付近立体交差事業 駅東の上土堤一踏切等の開かずの踏切解消と、県道八幡別府線の陸橋の渋滞・安全対策等のため。範囲は、西は県道野口尾上線の山ノ越信号南の陸橋から、東は国道2号線の福山通運東の土山陸橋間の約3.7km。

平成30年11月から県と市で、妥当性調査に入る。

平成31年度の当初予算に対する重要政策提言 H30. 10. 25

安全で安心な魅力あるまちづくり

かがわ市民クラブは岡田市長に対し、平成31年度の当初予算に対する82項目の重要政策提言をまとめ提出した。村上幹事長から市長に提言書の提出・挨拶、市長が挨拶、稲次政調会長から主な提言項目のポイントについて説明し、理事者と意見交換と提言をした。

主な提言項目

1. 市民の誰もが幸福を実感出来る総合計画の着実な推進 2. 人口減少社会への対応 4. 健全な財政運営の推進 5. 連携中枢都市圏制度の着実な推進 8. 公契約条例制定に向けた検討 10. 職員コンプライアンスの意識向上 11. 市職員の働き方改革 12. 自然災害対策と危機管理体制の充実 13. 加古川東市民病院跡地の有効活用 15. 高齢化対策と協働のまちづくり 19. 教育日本一に向けた施策展開 25. 学校園のエアコン等環境整備の推進 34. 加古川中央市民病院の運営の充実



37. こども医療費の完全無料化の実現 40. 待機児童解消ゼロへの取り組み

43. 高齢者福祉と支援の推進(生活支援サービス体制の早期構築) 44. 認知症対策の充実 54. ごみ減量化とごみ分別への指導の強化(有料化無き20%削減の実現を) 50. 加古川夜間・休日急病センターの充実 62. JR危険踏切改良事業の推進(特に上土堤踏切) 72. 安全で安心、良質なおいしい水の安定供給体制の整備



代 表 者	経理責任者
	

支 払 伝 票				経理番号
				30-12-5 19
会 派 名	かこがわ市民クラブ	年 度	平成 3 0 年度	
項 目	資料購入費	金 額	4, 4 2 8 円	
内 容	BAN-net 15Mコース利用料 (2018/11/1~11/30)			
支 払 先	BAN-BANネットワークス(株)	支払年月日	平成30年12月27日	
備 考	会派執務室用利用料 *自動引き落とし			
領収書又はこれに準ずる書類を添付すること (書類が多い場合は裏面に続く)				

加古川市議会 かこがわ市民クラブ 様

領収書番号 : 4710
領収日付 : 2018/12/27
BAN-BANネットワークス(株)
〒675-0039
兵庫県加古川市加古川町粟津26-2

TEL 0120-34-1442
FAX 079-420-3734

領收書

2018年12月～2018年12月 領収分

¥4,428 -

[illegible]